




## 経営トップ 平安株式会社

得意の塗装技術を活かし、お客様の財産を護る事業を展開する

## 特別寄稿

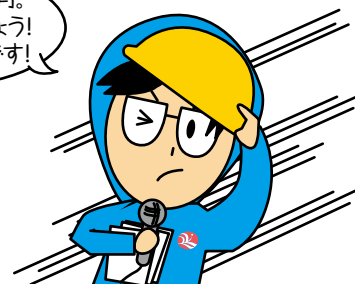
### インバウンド消費と沖縄貨物ハブよりの輸出について

RRI No.146

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所

9月は台風の多い月。  
対策して備えましょう!  
現場からは以上です!



※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

## CONTENTS



<p><b>経営トップに聞く</b> 平安株式会社 ～得意の塗装技術を活かし、お客様の財産を護る事業を展開する～ 代表取締役会長 宮里 和男</p>	01
<p><b>新時代の教育研究を切り拓く</b> ～休止期の細胞が増殖能力を維持するための遺伝子を発見 —新たな癌治療に向けて— 沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション (同大学のHP記事より許可を得て転載)</p>	06
<p><b>OCVBの取り組みについて</b> ～「チーム沖縄」が一体となったMICEセールス体制の構築にむけて～ 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー</p>	09
<p><b>特別寄稿 インバウンド消費と 沖縄貨物ハブよりの輸出について</b> 琉球大学国際地域創造学部 教授 知念 肇</p>	12
<p><b>アジア便り 香港</b> ～香港で活躍するウチナンチュ・各種イベント～ レポーター: うえはら かずひさ (琉球銀行) 沖縄県香港事務所に赴任中(副所長)</p>	17
<p><b>りゅうぎんビジネスクラブ</b> ～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～</p>	22
<p><b>行政情報106</b> 沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組等について 内閣府沖縄総合事務局経済産業部</p>	24
<p><b>県内大型プロジェクトの動向104</b></p>	26
<p><b>沖縄県の景気動向 (2018年7月)</b> ～消費関連の百貨店売上は前年を上回り、建設関連も好調に推移しているが、観光関連 の入域観光客数が前年を下回り、県内景気拡大の動きに一服感がみられる～</p>	28
<p><b>学びバンク</b> ・猫ブーム ～さくら猫事業に期待～ 琉球銀行赤道支店長 野原 照彦(のほら てるひこ) ・仕組み金融 ～大規模事業実施を支援～ 琉球銀行法人事業部ソリューショングループ調査役 草間 寛幸(くさま ひろゆき) ・今帰仁村の活性化 ～架橋 祭りて魅力伝える～ 琉球銀行今帰仁支店長 与那嶺 吉文(よなみね よしふみ) ・那覇空港の発展 ～旅客数増 施設拡充進む～ 琉球銀行那覇空港内出張所長 澤岨 安一郎(たくし やすいちろう)</p>	40
<p><b>経営情報 働き方改革関連法について</b> ～2018年6月29日働き方改革関連法が参院本会議で可決されました～ 提供 太陽グラントソントン税理士法人</p>	43
<p><b>経済日誌 2018年8月</b></p>	45
<p><b>県内の主要経済指標</b></p>	46
<p><b>県内の金融統計</b></p>	48

経営  
トップに聞く得意の塗装技術を活  
かし、お客様の財産を  
護る事業を展開する。平安株式会社  
みやざと かず お  
宮里 和男 会長

平安株式会社は、1984年7月創業した株式会社ヤマシロ塗装工業が前身。沖縄の本土復帰を機に設置された石油備蓄基地のある平安座島近隣で創業した経緯から、当初より石油貯蔵タンク等の大型で特殊施設の塗装ノウハウを確立、一般の民間住宅までの塗装技術、施工例は評判が高い。近年では住宅のリフォームや建築も手掛けるようになってきている。うるま市与那城平安座にある事業本部をお訪ねし、宮里和男会長に同社のこれまでの歩み、事業内容、経営理念、今後の展開などをお聞きした。

インタビューとレポート 大谷 豊

#### 御社の設立の経緯やこれまでの歩みについて聞かせてください。

沖縄の復帰前の混乱時期に青春時代だった私は卒業後、沖縄にはまだ脆弱な企業しかなくいろいろな仕事に就きました。そんななか職場と言えば安定・比較的厚遇だった米軍基地にも勤めました。そして沖縄の復帰が決定すると米軍はその基地雇用員の大量解雇を実施、私もその解雇通告を受けた一人でした。

その時、建設会社を興していた知人から誘いを受け、当業界に勤めることになりましたが、全くの畑違いでした。技術や経験がなく私は営

業を担当しておりました。暫くは好調な時がありましたが、知人の放漫経営から、業績は不振となりました。そこで周囲から独立を勧められ、同社の業務を引き継ぐ形で1984年7月に株式会社ヤマシロ塗装工業を設立しました。取引先から「宮里が代表になるなら、しっかり応援するよ」との声で決断したのです。1985年（昭和60年）8月には社名も平安塗装工業に変更、業容拡大を目指しました。

しかし、前の建設会社で営業を担当してはいたものの建設業や会社経営のことを良く判らない私はまた、苦しい時を迎えることになりました



た。会社の内部管理に疎かった私は会社の経理や工事管理を担当社員に任せっ放しでした。折からのバブル崩壊により一転、不況の波が押し寄せ、取引先との支払条件の交渉が続く日々となったのです。内部管理の大切さを思い知らされ、一念発起し原価計算やコンピューターの使い方を一から社員に習いました。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」です。社員に勝手な事をさせないため根掘り葉掘り聞き習いました。当然、経費削減等の自助努力、リストラも実施しました。

しかし、それで終わりではなくその後も国の政策で金融機関の不良債権処理促進が進み、零細で、決して優良ではなかった当社もその煽りを受けました。当時、取引銀行の中には取引内容の見直し等厳しい対応する銀行もありました。他方、優しく親身に手を差し伸べて頂いた銀行もあり、今でも親しく取引、お付き合いさせて頂いています。

お陰様で苦しかった経費削減等が奏功し持ち直すことができ、2015年（平成27年）8月に現在の社名である平安株式会社に変更、私は当社の将来のことも踏まえて会長職に就き現在に至っております。社名の「平安」は地元である平安座の“平安”と会社がいつまでも社員や地域にとって平和

で安全な場所であるように、永続する企業となることを祈念して命名したものです。

### 御社の業務内容についてご紹介いただけますか。

当社の業務は塗装工事、防水工事、リフォーム工事とそれに関連する業務となります。メインは塗装業務で、大半が民間工事です。公共工事は規模は大きくなりますが入札であり、大手の友好会社からスポット的に下請けを受けています。当社の規模でも主体的に出来る民間工事の方を積極的に取り組んでおります。

○塗装業務：当社のメイン業務となります。当社の規模で石油貯蔵タンクや海上に浮かぶ石油や天然ガスをタンカーから採りこむシーバース等、大型で特殊な施設を塗装する各種装置を取り揃えている会社は数少ないと思います。当然、その技術も他社に引けを取らないものと自負しております。

平安座島の石油基地や南西石油の石油タンク等の塗装、補修業務を受注、実績を挙げております。

○防水工事：県内は鉄筋コンクリート建てが大半ですが、コンクリートも絶対に堅牢という訳ではありません。適度な保守が必要です。

昔はセメントに混ぜる砂を海砂を使用して



石油基地関連タンク及び配管塗装  
(随時維持管理塗装)



リザンシーパークホテルドーム改修 (元請工事)

塗装工事工程



下地調整



ひび補修



シーラー塗布



仕上塗装

いたこともあったようで、その場合、時間の経過とともに、中の鉄筋を腐食させるということがありました。近年では山砂利用が大半ですが、セメント自体の経年劣化や振動によるヒビ割れから雨水が染み込み、腐食につながるケースが目立っています。鉄筋コンクリートといえども壁面の塗装メンテナンス等保守が必要なのです。細い筋のヒビでも放置しておくで大規模な補修が必要になる場合もあります。小さなヒビでも数が多かったり、壁が浮き上がったようになっていたり、シミが目立つ壁は、手遅れにならない内に一度当社のような業者に問い合わせしてみてください。

○リフォーム工事：先の塗装、防水工事も大きな意味ではリフォームの一つと言えますが、それらとは違う間取り変更や室内設備の取り換え等も近年取扱いを始めました。

以上の業務につき当社では、押し売りの様な営業は禁じています。あくまでお客様からの相談、要望に応じた見積もりを提示します。その際、当社側から気になる箇所があれば追加工事の提案をしますが、納得・了承頂ける場合にのみ追加し、見積もりのかさ上げにつながるような営業は一切行ないません。お客様の大切な住宅等

防水工事工程



高圧洗浄



ひび補修



防水



仕上塗装

を大切に取扱い、当社にお願いして良かったと喜んでもらえる仕事をしています。喜んでもらった実績こそが一番の広告であり、営業だと捉えています。

御社の経営理念についてお聞かせください。

当社の経営理念は、私が信念として常々考えている次の言葉です。

“人を愛し、世を愛し、そして我が身を愛せよ。”

この三つの愛を大事にする生き方です。

これは、私が事ある毎に社員に伝え共有できるように心掛けています。

まず、後半部分の「我が身を愛せよ」は、もちろん自分勝手に好きなことをしなさい、ということではなく、愛せよとは自分の身も心も大事にし、今より高いところへ上達、鍛練を怠るなという意味です。ですから、具体的な行動としては、我が身を愛するのが先になります。自分の力量に合ったことしか、人は成す事はできないと考えています。自分を大きく成長させることが出来れば、他人に与える、エネルギーも大きくなります。自分を高めることが出来てはじめて他者への愛情が生まれ、優しく接することが出来るのではないのでしょうか。そして、それは周りの人や物に対しても同じで、地域を愛



し、地域のための行動を興すことにつながるという考えです。

社是としては、より具体的に次の様に定めて業務を遂行しております。

### ○顧客を増やす事

- ・私共の職業はお客様の財産を護る仕事である。
- ・私共はお客様の大事な財産を護る為適正価格にて技術を提供する。
- ・私共は仕事を通して社会に貢献し職業奉仕を行う事とする。
- ・私共がお客様から受けた利益は報酬として頂きます。
- ・私共は常にお客様のニーズに対応し、客先の喜びを我が喜びとする。
- ・私共は常に美しさと住み良い環境創りで明るい生活を提供する。

このように、自分や会社、周囲に正直でうそ偽りなく正々堂々と仕事に取り組み、会社内でも透明性のある経営を心掛けています。

決して、背伸びしない無理のない経営を心掛けています。原価管理の大切さを思い知っておりますので、大きく伸ばすことに固執せず着実に前年より少しでも伸ばせれば良しとし、売り上げを伸ばすより原価や諸経費を削減する努力を考えるべきと捉えています。

また、経営者の考えを如何に上手く社員に伝えられるかが肝要だと捉えています。いくら社長が立派な考えを持ち、素晴らしいアイデアを思い付いたとしても、社員に伝わらなければ、何にもなりません。当たり前ですが、社長一人で仕事は出来ないし、社員に無理やり命じても表面上は云われた事は実行するでしょうが、その仕上がりの質は果たしてどうでしょう、命令ではなく共有できるよう会社内の意思疎通、風通しの良い組織を目指しています。

現場主体の職場ですので、全社員が揃うのは難しいのですが、年2回は全体会議を開き会社の方針、業績の確認等を行なっています。また、半年毎の収益の状況に応じ、職員全員で利益を分配する形でこの全体会議に合わせて賞与を支給しています。

### 社会貢献活動についてお聞かせください。

企業は地域と共にあると考えており、積極的に地域活動に参加しております。当平安座地区は伝統芸能が豊富な地域で、地区を挙げての伝統行事も大小様々あります。それらの行事の準備や後片付け等ボランティア活動にも社員の動員を仰ぎ参加しています。

伝統行事ではありませんが、当地区内の建設

## 企業概要

商 号: 平安株式会社

本社所在地: 沖縄県沖縄市越来 2-22-17

事業本部: うるま市与那城平安座 8321 番地

連絡先: 098-938-3001 (本社代表)

098-977-8001 (事業本部)

設 立: 1984 年 7 月 (昭和 59 年)

役 員: 代表取締役会長 宮里 和男

代表取締役社長 與那嶺真栄

専務取締役 當山 一徳

常務取締役 宮里 勲

取締役相談役 奥浜 龍男

従業員数: 17 人

事業内容: 塗装工事、防水工事、  
リフォーム工事

美里工業高校改修 (沖縄県発注元請工事)



久保田市営改修 (沖縄市発注元請工事)

業をはじめとした法人組織が主催している“旧歴の 17 日祭り”というのがあります。日頃お世話になっている地域の皆様への感謝の気持ちを表す納涼祭です。旧盆の翌々日 17 日に輪番制で開催するものです。同業者はもとより近所の個人の方も招待する細やかですが地域への感謝の気持ちを込めた夕べとなっております。これも地域の活性化につながるものになればと、祭りの当日は平日、休日に関係なく、会社の業務はお休みさせて頂き実施しております。

## 御社の人材育成についてもお話しいただけますか。

経営理念で表している“我が身を愛せよ”は人材育成に於いては“自己研鑽”と捉え積極的に人材育成に取り組んでいます。

どの会社でもそうだと思いますが、社員教育の良し悪し、保有資格の数が会社運営を左右すると考えています。当社の様な建築業は特に技術主体の業務運営であり、各種技術の資格取得は経営上の重要事項です。個人的にも当社創業後間もなくの頃に、様々な知識や情報の必要性は身に染みて思い知っており、私も率先垂範で資格取得をし、「建築塗装基幹技能者」「塗装技能士一級」の資格を取得することができました。お陰様で国家資格である塗装技能士一級の資格

保持者が当社では現在 14 名おります。

資格取得のための費用は会社負担で、取得資格によっては手当支給もあり、会社を挙げて資格取得するよう指導しています。何事にも果敢にチャレンジする精神を大事にし、平安に勤めて良かったと思ってもらえる社員をたくさん育てていきたいと考えております。

## これからの取り組みや事業展開についてお話しいただけますか。

繰り返しになりますが、当社は石油貯蔵タンク等の特殊施設の塗装業務についてはお客様より信頼を得る実績を積んでいると自負しております。この本業を着実に実行していけば、百年いや千年企業も夢ではないと考え会長職に就きました。社員や特に、後継者となる幹部には、「ルールは敷いた、どんなスピードで走るかは、任せるが決して脱線しないようスピード管理には慎重すぎる位注意しなさい」と諭しております。

お陰様で、近年ではリフォーム関連業務が順調に推移しており、本格的なトータルリフォーム業にも取り掛かりたいと考えています。

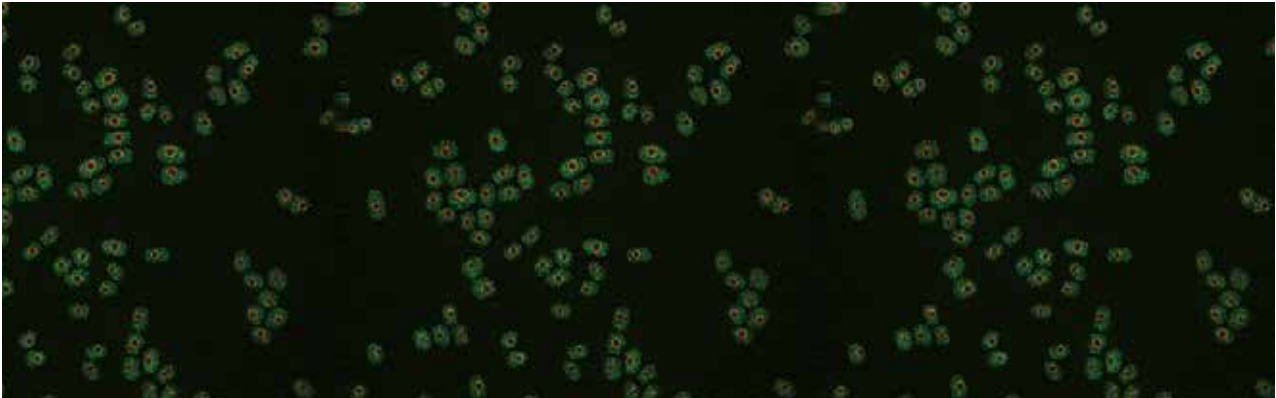
今後ともよろしくお願い申し上げます。

※沖縄科学技術大学院大学のHPから許可を得て転載した記事です。

# 新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

## 休止期の細胞が増殖能力を維持するための遺伝子を発見 —新たな癌治療に向けて—



細胞は決まった周期で分裂と増殖を繰り返していますが、その周期から外れて休止している状態をG0（ジーゼロ）期といいます。筋肉、心臓、神経など、ヒト体細胞の90%以上はこれにあたります。沖縄科学技術大学院大学（OIST）G0細胞ユニット（代表：柳田充弘教授）の佐二木健一研究員らは、細胞が休止している期間においても再び増殖できる能力を維持するために必要な遺伝子群を発見し、その仕組みの一部を解明しました。この遺伝子群は3800以上の遺伝子の中のわずか85個に絞られ、その中には休止期の細胞内で活性化されるリサイクルシステム（「オートファジー」<sup>(注1)</sup>を含むシステム）から核を保護する機能が含まれていることがわかりました。

この研究成果は、生物にとって重要な仕組みの解明に道筋をつける他、再増殖能力を維持したまま休止期に留まることによって現行の治療に耐性を持つ癌幹細胞を標的とした新たな癌治療の開発にもつながる可能性があります。本研究成果は、米国の科学誌*Science*の姉妹版電子ジャーナル *Science Advances* に掲載されました。

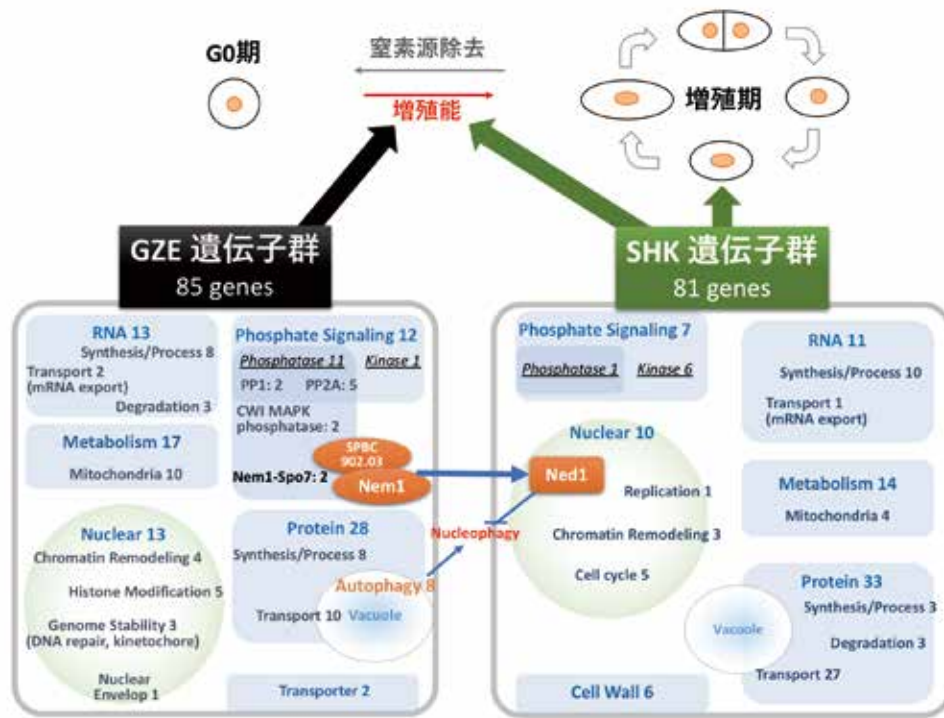
### 研究の背景と経緯

生物の基本単位である細胞は、栄養状況が悪化するなど環境が増殖（成長）に適さなくなると、増殖能力は保ちつつも細胞分裂を停止する期間「G0（ジーゼロ）期」に入ります。この時、再び環境が良くなり活動を再開した際に、また増殖する能力「増殖能」を維持することは、生物にとって生死にも匹敵する重要な問題です。単細胞生物の場合、増殖能を失えば子孫を残せませんし、多数の細胞からなる高等生物にとっても代謝や発達に重大な影響を及ぼすからです。また、G0期での増殖能の維持は、癌治療の側面からも注目されています。近年、癌腫瘍の中には様々な種類の細胞が存在することが報告されていますが、中でも癌幹細胞と呼ばれる細胞はG0期に留まり、増殖細胞を標的とした現行

の治療を逃れ、完治を困難にしています。

研究チームはこれまで、G0期で細胞が増殖能を維持する仕組みの解明を目指して研究を続けてきました。先行研究では、分裂酵母を用いた実験から、G0期での増殖能維持に必要な遺伝子81個を同定しました。これらの遺伝子群はG0期のみならず増殖期でも必須だったため、「スーパーハウスキーピング（SHK）遺伝子」と名付けました。今回、チームはG0期に特異的に必要な遺伝子群85個を新たに同定し、「G0エッセンシャル（GZE）遺伝子」と名付けました。さらに、SHK遺伝子群とGZE遺伝子群の関係性を象徴するような研究結果も確認できたことから、G0期で増殖能を維持する遺伝子ネットワーク全体の構造が明らかになってきました。





G0期に特異的に必要な85個の遺伝子群「G0エッセンシャル (GZE) 遺伝子」とG0期での増殖能維持に必須な81個の遺伝子群「スーパーハウスキーピング (SHK) 遺伝子」を比較すると、GZEの中で最も増殖能低下を示した「Nem1脱リン酸化酵素」が欠如した分裂酵母株では核の変形が起きており、オートファジー (Autophagy) 経路を阻害すると核の変形が改善され、増殖能も回復することがわかった。SHKの内、Nem1酵素がリン酸化を行う標的タンパク質として「Ned1/lipin遺伝子」があるが、窒素源除去後にNem1によって脱リン酸化されることが明らかになった。さらに、人工的に変異を誘発させたNed1/lipinの変異株はNem1のない株と同様の増殖能低下と核異常を示すことがわかり、これらの異常もオートファジー経路を阻害することで改善することがわかった。Nucleophagy: 核に対する自食作用。Nem1のない株では核の変形を引き起こす。

提供:G0 Cell Unit, OIST

## 研究内容

分裂酵母は培地中の窒素源を除去することによりG0期に進入<sup>(注2)</sup>し、再添加により増殖期に戻ります。この性質を利用して、人為的にある特定の遺伝子を取り除いた<sup>(注3)</sup>3800株を超える分裂酵母を用意し、G0期に進入した後、増殖期に戻れない85株を選び出しました。それら85個の取り除かれていた遺伝子は、G0期の増殖能維持に特異的に必要であったため、「G0エッセンシャル (GZE) 遺伝子群」と名付けました。

これらのGZE遺伝子群の中で、特にタンパク質の脱リン酸化<sup>(注4)</sup>に関わる酵素とオートファジー (自食) に関わる遺伝子の数が多く、中でも最も著しい増殖能低下を示したのは「Nem1脱リン酸化酵素」のない分裂酵母株でした。観察すると、この株は窒素源除去後、顕著な核の変形を起こしていました。さらに研究を進めると、核の変形は、オートファジー経路を阻害すると改善され、増殖能も回復することがわかりました。

さらに、Nem1酵素がリン酸化を行う標的タンパク質として「Ned1/lipin遺伝子」がありますが、この遺伝子は、以前の実験によ

てスーパーハウスキーピング (SHK) 遺伝子として同定されていました。そこでNem1とNed1/lipinのG0期での関係を調べたところ、「Ned1/lipin」は窒素源除去後にNem1によって脱リン酸化されることがわかりました。また、人工的に変異を誘発させたNed1/lipinの変異株はNem1のない株と同様の増殖能低下と核異常を示すことがわかり、さらに、これらの異常もオートファジー経路を阻害することで改善することがわかりました (上図)。

これらの結果は、Nem1-Ned1/lipin経路が正常に働き、オートファジーの過度な自食から核を保護することがG0期での増殖能維持に必須であることを示唆しています。また、ここでは、Nem1 (GZE遺伝子) がスイッチとなり、Ned1/lipin (SHK遺伝子) を制御するという関係性も見えました。このことは、GZE遺伝子群とSHK遺伝子群がそれぞれG0期に特化したスイッチとそのスイッチに制御される基本的細胞機能を担う集団である可能性を示唆しており、増殖能を維持する遺伝子ネットワークの構造が垣間見える結果となりました。

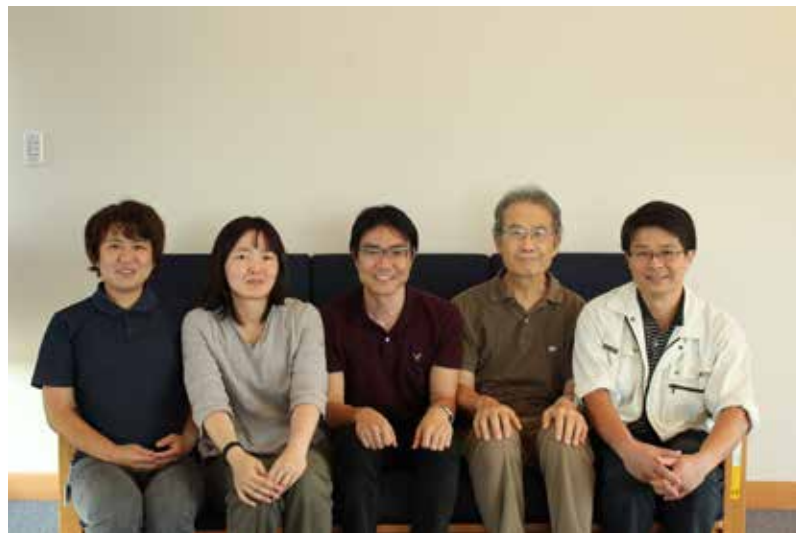
## 今回の研究成果のインパクト・今後の展開

私たちの体のほとんどの細胞は成長も分裂もしない休止の状態であるG0期にあります。そのG0期で増殖能がどのように維持されているのかという問題を理解することは、私たちの生命活動にも深く関わり、今回の研究成果はその仕組みの全体像を提示しています。先に同定されたSHK遺伝子群と今回同定したGZE遺伝子群は、増殖能を維持する仕組みのフレームワークとなり得るものです。Nem1-Ned1/lipin経路とオートファジーの関係は核とリサイクルシステムの関係を示したのですが、同定された遺伝子群の中にはこの関係をさらに興味深くするものも含まれています。今後、これら遺伝子群の解析により仕組みがさらに明らかになることが期待されます。

また、G0期での増殖能を維持する仕組みは、近年報告されているG0期に留まる癌幹細胞を標的とした新たな癌治療につながる可能性もあります。実際、GZE遺伝子群の40%以上で癌との関連性が報告されています。「基礎研究の結果はなかなか特効薬にはなり得ませんが、対処療法とは違った根本的な解決につながるものだと考えています」と、佐二木博士は期待を持って語ります。

## 用語説明

- 注1 オートファジー:細胞内の自食作用。不要な物質を分解して廃棄したり、リサイクルしたりする。栄養豊富な状態では、オートファジーは抑制されているが、細胞が飢餓状態に陥ると、オートファジーが誘導される。
- 注2 G0期:分裂酵母は、窒素源を枯渇させた培養条件下ではG0期に誘導され、成長も分裂もせず少なくとも二ヶ月以上の長期にわたって生存を維持する。再び、窒素源を添加すると増殖期に戻る。
- 注3 遺伝子破壊株:人工的に組換えを起こし、ある遺伝子を取り除いた株を遺伝子破壊株という。増殖期に必須な遺伝子は取り除けないため、作れるのは必然的に増殖期に不要な遺伝子の株のみとなる。
- 注4 脱リン酸化:細胞は、その機能を維持するために情報伝達を行っている。細胞内の情報伝達は、シグナルタンパク質がリン酸基を付けたり外したりして行う場合が多く、脱リン酸化はリン酸基を外すことを指す。リン酸基を外すのは、付ける場合に比べエネルギーが少なく済み、栄養源除去下でのG0期に特化したシグナル伝達<sup>(注5)</sup>がリン酸基を外すことで行われることは理にかなっている。
- 注5 シグナル伝達系:細胞内で情報を伝達する経路。シグナル伝達を担うタンパク質のリン酸基のやり取りで行われる例が多く報告されている。



本研究チーム。左から：田原由莉亜技術員、上原理沙技術員、佐二木健一研究員、柳田充弘教授、佐々木敏雄技術員



OISTではキャンパスツアー(ガイド付もしくは自由見学)を行っています。詳細は地域連携セクション 098(966)2184 までお問い合わせください。

OISTについてより詳しくお知りになりたい方は[www.oist.jp](http://www.oist.jp)をご覧ください。

～「チーム沖縄」が一体となった MICE セールス体制の構築にむけて～



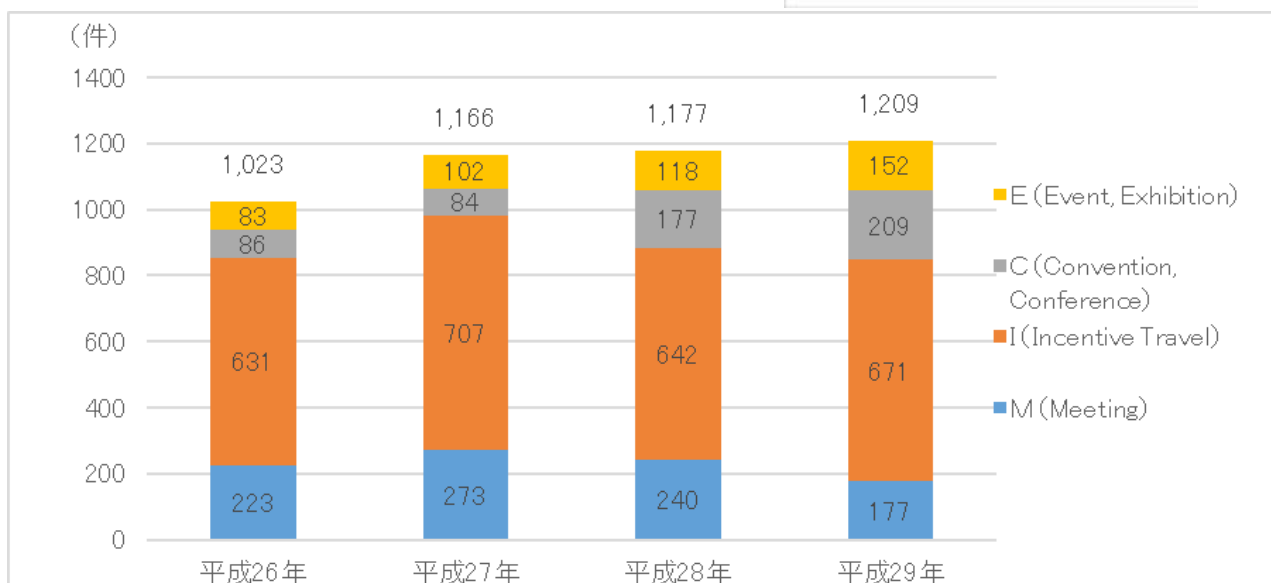
沖縄県ではこれまで、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：平良朝敬、以下OCVB）と観光関連事業者が連携し、沖縄のリゾート資源を生かした MICE の誘致に取り組んできました。その結果、企業ミーティングやインセンティブ旅行、国際的なコンベンション等の開催が増え、近年では、平成 22 年に創設された沖縄科学技術大学院大学が行う最先端研究の成果を発表する機会として、国際学会や国際ワークショップ等の学術イベントも増加傾向にあります。

下記のグラフは、沖縄県内における MICE の開催状況を示しています。沖縄県内では、年間 1,209 件（平成 29 年）の MICE が開催されており、リゾート型の MICE 都市として、国内で一定の評価を得ています。一方で、大型施設がないことから、大規模のコンベンションおよび展示会・イベントの開催件数が相対的に少ないのが現状です。

■参加分野別及び規模別開催実績（件数）の内訳



■ MICE 開催実績の推移



今後は、強みであるリゾート資源を生かした企業ミーティング・インセンティブ旅行に加え、MICE が有する経済的・社会的効果を高めるためにも、国際的なコンベンションやアジアの活力を取り込む展示会・商談会の誘致・開催が課題です。

世界の MICE 市場では、アジア・太平洋地域の経済発展に連動する形で、MICE 需要が増大しています。そのため、わが国でも「2030 年には、アジア NO.1 の国際会議開催国としての不動の地位を築く」という目標を掲げ、政府全体で MICE 誘致の支援体制を強化する取り組みが進められています。

沖縄県内でも、経済界を中心として大規模な展示会等のニーズが高まっており、アジアをはじめとする国内外の様々な MICE 需要を積極的に取り込むため、3 万㎡の展示場を備えた新たな MICE 施設の建設に向けた取組を進めています。

そして昨年 7 月、沖縄県は MICE を経済成長のプラットフォームとして新たに位置づけ、MICE による産業振興と都市ブランド力の向上を図るため、今後 10 年間の MICE 振興の基本方向や中長期目標、具体的施策をまとめた「沖縄 MICE 振興戦略」を策定しました。

#### 沖縄MICE振興戦略(2017年度～2026年度)概要

##### 【基本戦略】

戦略1	マーケティングに基づくプロモーションの展開
戦略2	大型MICE施設を核とした全県的な受入体制の構築
戦略3	MICEに関わるプレーヤーの育成・確保

##### 【MICE誘致方針】

方針1	リゾート資源を生かした企業ミーティング・インセンティブ旅行の誘致
方針2	大学・産業界との連携による質の高いコンベンションの誘致・開催
方針3	アジアの活力を取り込む展示会・商談会等の誘致・開催

##### 【成果目標】

指標	基準年 (2016年)	5年後 (2021年)	10年後 (2026年)
MICE開催による直接経済効果 参加者消費額+主催者支出額+出展者支出額	209億円	413億円	722億円
MICE開催による経済波及効果 (間接効果)	252億円	506億円	889億円
沖縄MICEネットワーク会員数	0団体	130団体	160団体
1,000名以上の催事件数	85件	134件	231件

また、同じ 7 月、MICE を盛り上げる新たな組織「沖縄 MICE ネットワーク」も設立しています。

OCVB 等が事務局を務めるこの組織は、経済界、大学、行政機関など産学官で構成され、MICE に関する総合的な支援体制づくりや産業横断的な受入体制の構築、沖縄 MICE のプロモーション等について、チーム沖縄として取り組むこととしています。すでに 180 を超える企業、団体が本ネットワークに加入しています。(※沖縄 MICE ネットワークの詳細については、りゅうぎん調査 平成 29 年 7 月号にて既出)

さらに、今年 3 月には、国際的な MICE 都市としての沖縄のブランドイメージを世界に発信するため、沖縄の MICE ブランド・ロゴが誕生しました。

沖縄 MICE ブランドは、沖縄 MICE ネットワーク内に設置されたブランド部会と、外部有識者等で構成される沖縄 MICE ブランド決定委員会での 5 か月にわたる議論を経て決定されました。

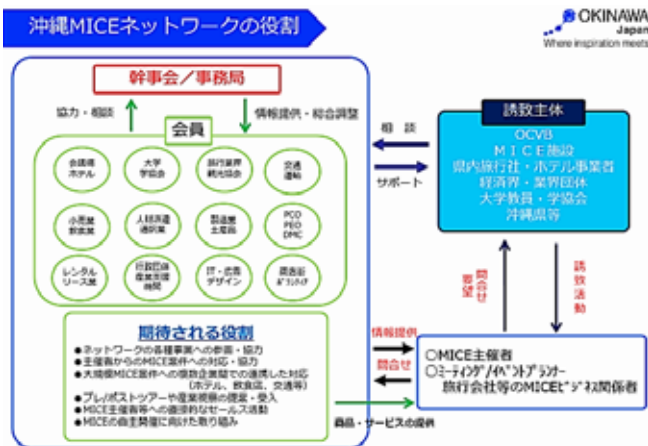
売る側と買う側の想いのミスマッチを起こさないように、独りよがりにならずに「伝えたい想い(コンセプト)」を表現するには、顧客の心に響く「卓越したストーリー」が必要です。そのため沖縄 MICE ネットワーク・ブランド部会では、キックオフセミナーと 4 回の部会を通じて、「沖縄 MICE が持つ魅力とは何か」「その中から特出して訴えるべき価値とは何か」を徹底的に討論しました。

まず、部会メンバー(県内 MICE 関係者)で、「伝えたい沖縄の魅力」を抽出しました。次に、MICE 主催者への調査で、「開催地への期待とは何か」を探りました。そこから生まれたブランドの核となる沖縄の魅力＝「沖縄ならではの価値」「競合地との差別化要素」は下記の 3 点に集約されました。

- (1) 沖縄は寛容ですべての人々を受け入れる  
→ 万国津梁の精神、オープンマインドな県民性
- (2) 沖縄の自然がもたらす非日常的空間  
→ 人の心と感性を磨く、新たなアイディアを創造

(3) 都市機能、産業基盤、先進的研究の集積・高度化

→ 国際空港、観光施設、アジア経済戦略構想、亜熱帯島嶼型の研究実績等



**ブランドストーリー(バリュー・プロポジション)**  
 日本にありながら**独自の歴史、文化、自然環境**を持つ沖縄には、**全ての人、あらゆる垣根を越えた交流と融合**が育まれ、  
**琉球の時代から今日へ、その繁栄を支えてきた万国津梁の精神**が受け継がれています。  
**国を、人を、英知を、そしてビジネス繋ぐ沖縄は、未来を拓き、変化させる結節点**となります。

アジアを代表する**リゾート環境を備えたビジネス都市・沖縄**での**特別な体験**が、**明日に向けてのエネルギーをチャージし、大海のように広がるインスピレーションを湧き起こします。**

21世紀のアジア発展の架け橋として**進化し続ける沖縄のビジネス環境**は、**生み出された「価値」を未来へと繋ぎます。**

青字: 沖縄が伝えたい魅力  
 赤字: 主催者に提供できる価値

ロゴ、ブランドストーリーができあがれば、ブランド構築が終了するわけではありません。今後、県・OCVBだけでなく、MICE誘致に関わる全員がブランドを正しく理解し、同じ方向性を向いて沖縄をセールスすることが肝要です。

MICEブランドの意義、担うべき役割は、「外部に対するもの」と「内部に対するもの」の二つがあります。外部(主催者、旅行会社、PCO/PEO等)に対しては、MICE開催地としての沖縄が、MICE開催の目的達成につながるどのような価値・メリットがあるかを伝え、保証するものです。内部(MICE関連事業者、県民)に対しては、MICEに関わる全ての関係者が、沖縄をセールスするための統一した指針となるものです。全ての県内事業者が、沖縄MICEのブランド価値について同じ認識を持って行動することで、顧客に対し、同じメッセージの矢をはなつことができます。

MICE関連事業者を核に、広く県民の皆様にも沖縄MICEブランドを知っていただき、価値を感じ、活用いただくことで、外部に対して千本、万本のセールスの矢を放つことができるよう、OCVBでは、沖縄MICEネットワークとともに、沖縄MICEブランドの構築、啓発に尽力し、沖縄MICEの振興に貢献したいと思います。



顧客の視点からみて意味のある価値のことを「バリュー・プロポジション」と言います。主催者がMICE都市に望む「期待」と、沖縄側が伝えたい「沖縄MICEの魅力」が一致する価値、それがさらに他の競合地には提供できない価値であれば、その価値はなおさら高まります。ブランド部会の議論をもとにまとめられた上記3点をさらにストーリー化したバリュープロポジションが下右記のとおりです。

**【お問い合わせ先】**  
 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー  
 受入事業部 MICE推進課内 沖縄MICEネットワーク事務局  
 〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1 (沖縄産業支援センター2階)  
 Tel:098-851-3765  
 E-mail: info@okinawamicenetwork.jp

# インバウンド消費と 沖縄貨物ハブよりの輸出について



早稲田大学大学院商学研究科博士課程満期終了退学  
琉球大学国際地域創造学部  
教授 知念 肇

## 1. はじめに

来沖する訪日外国人観光客の数は、2017年に254万人となった。また、2009年に開設された沖縄貨物ハブは、来年で10年となる。

本稿においては、来沖する訪日外国人の属性及びショッピング行動と輸出の関連性を示すことにある。すなわち、来沖した外国人の飲食体験やサービス体験により日本製品への信頼性が向上し、帰国したのちも購買意欲を持ちスマホ等で発注することにより、当該国への日本製品の輸出が増加するという仮説を現在入手できるデータを使って証明しようという試みである。これは、ハワイを超える観光客数と沖縄貨物ハブという高度な国際貨物拠点を持つ沖縄県であるからこそ、価値のある試みである。

## 2. 外国客（空路）の動向と消費

近年、LCCの那覇空港への就航が相次ぎ、空路による訪日外国人が増加している。（表1）

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課は、毎年那覇空港と石垣空港において訪日外国人観光客へのアンケート調査を行っている。平成29年度においては、那覇空港および石垣空港において1,932名の回答を得ている。<sup>1)</sup>

以下の分析は、台湾(626)、韓国(566)、香港(338)、中国(290)のデータをもとに行われたものである。（標本数の94%）

表1. 国籍別の動向

国・地域	動 向
台 湾	タイガーエア台湾による高雄ー那覇路線の新規就航などの航空路線の拡充に加え、クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに増加し初の80万人台となった。
韓 国	ティーウェイ航空による大邱ー那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充により、空路客を中心に増加、過去最高を更新し、初の50万人台となった。
中国本土	中国東方航空による西安ー那覇路線の新規就航等により空路は前年度並みとなったが、中国発クルーズ船の寄港回数増により、海路客が増加し、初の50万人台となった。
香 港	香港エクスプレスによる香港ー石垣路線の通年化や、香港発クルーズ船の寄港により、空路・海路客ともに増加、過去最高を更新した。
その他	ピーチアビエーションによるバンコクー那覇路線の通年運航や、ジェットスター・アジア航空によるシンガポールー那覇路線の新規就航など東南アジア方面での航空路線の拡充があった。

出所：沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課  
(2018.7.5)『平成29年度入域観光客数概況』  
沖縄県

図1

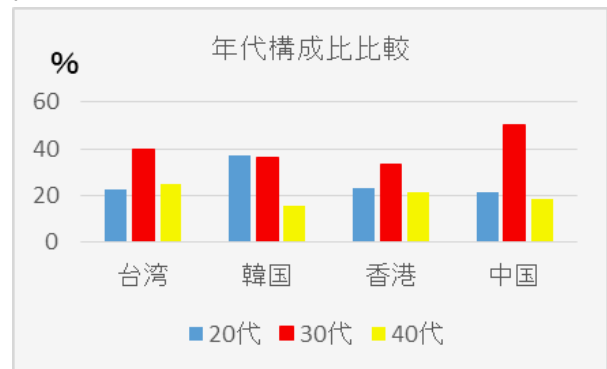
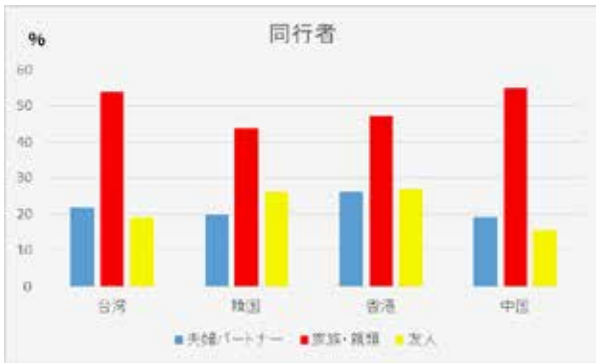


表2. 年代別構成比

年代	台湾		韓国		香港		中国	
	標本数	構成比%	標本数	構成比%	標本数	構成比%	標本数	構成比%
10代	15	2.5	14	2.5	16	5.8	5	1.7
20代	136	22.6	208	37.0	72	23.1	62	21.1
30代	250	40.0	204	36.1	113	33.4	147	50.5
40代	147	24.7	87	15.7	70	21.3	50	18.1
50代	45	7.5	34	6.0	41	11.7	17	6.1
60代	14	2.1	9	1.6	10	3.6	6	2.1
70代以上	4	0.6	6	1.1	3	1.2	1	0.3

年代を見てみると、韓国は20代と30代が拮抗しているが、台湾、香港、中国においては、30代の割合が高くなっている。（表2、図1）

図 2



同行者を見てみると、家族・親類が多く、30代を中心に家族で沖縄観光を楽しむケースが多いと見られる。(図2)

初めて来沖する観光客は、韓国と中国に多く、台湾、香港は比較的リピーターが多い。(図3)

図 3

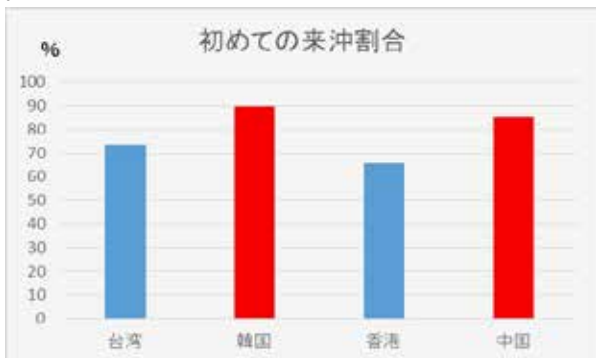
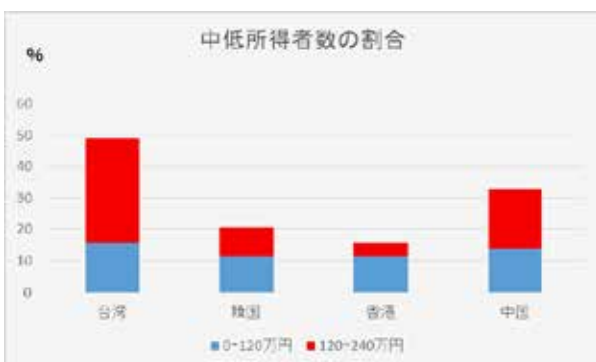


図 4



図 5



所得階層別に見てみると、台湾とその他の国籍で違いが鮮明に出ている。台湾国籍では、所得240万円以下の来沖客が占める割合が50%近いのに対し、他国籍では、所得240万円以上の来沖客の占める割合が高い。(図4、図5)

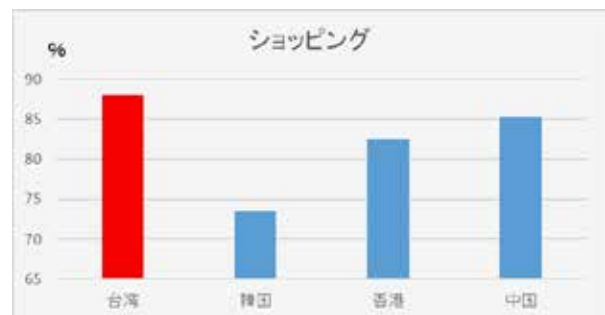
台北からLCCを利用し沖縄県を訪れるとすれば、片道1万円を切るケースも珍しくない事を考えると、台湾国籍の人々にとって沖縄は気楽に訪れることのできる一番近い日本となっている。

表3.ショッピングをする来沖客の割合(%)

活動	台湾	韓国	香港	中国
ショッピング	88.1	73.5	82.6	85.2

韓国国籍を除くと、いずれもショッピングを行う割合が80%を超えているが、とりわけ台湾国籍においては、90%近くに達している。(表3、図6)

図 6



台湾国籍においては、リピーターが多いことからしても、定期的に日本製商品を仕入れるビジネスマンも多く存在すると思われるが、国内のショッピングセンターを楽しむ感覚で来沖する所謂「準国内化」が進んでいると見てよい。

### 3. インバウンド消費関連商品輸出の傾向

以下の分析は、財務省税関沖縄管区のデータをもとに行ったものである。<sup>2)</sup> インバウンド消費関連商品とは、来沖した外国人観光客が飲食体験や化粧品のメイクのようにサービス体験可能な商品のことである。今回は、「飲料」、「肉類及び同調整品」、「魚類及び同調整品」、「果実」、「野菜」、「化粧品」を取り上げた。

#### (1) 飲料

ビールは工場見学が好評で、高品質ビール試飲が出来、来沖外国人観光客の高い信頼を得ている。特に台湾では、コンビニで沖縄産ビール

が定番となっているため、安定して輸出が推移している。また営業所を設け、細かく市場を分析できることも効果をあげている。(図7)

図7



ビールの売り込みは当初空路から始まる場合が多いが、沖縄産ビールはヨーロッパをはじめ様々な地域に輸出されている。(図8)

図8



アジアでも図9で見る通りシンガポールやオーストラリアでの売れ行きが好調だ。しかし、ここで注意しなければならないのは、しっかりとした販路が構築できなければ、図9の中国等のように一過性のブームに終わる危険性が高いという事である。店に無ければ、入荷を待つ人はなく他のブランドを購入し、沖縄での飲食体験を忘れるのである。しかも沖縄産ビールは地元ビールの2倍以上の値段となるのが通常である。

図9



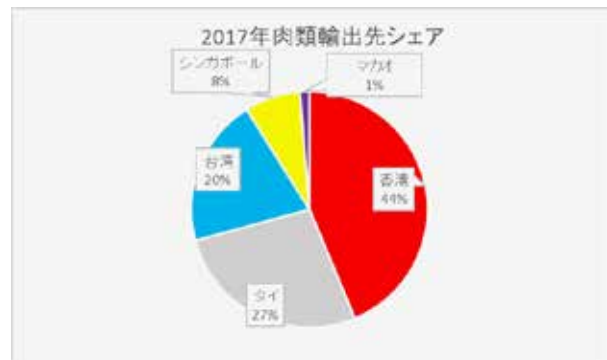
## (2) 肉類及び同調整品

肉類の輸出は、ほぼ100%沖縄貨物ハブを使った空路である。2017年に台湾で和牛肉輸入が解禁された等の影響でアジアへの輸出が大幅に伸びている。シンガポールやタイでも高級和牛は人気商品となっている。(図10、図11)

図10



図11



SNS等で評判のステーキ店を巡る来沖客も多く、産地-レストラン-貿易会社の連携が深まれば、今後とも輸出はさらに伸びる有望な商品である。

## (3) 魚類

魚類及び同調整品の輸出に関しては、税関によると通関手続きを行う場所を沖縄以外に移した組織があり、一見減少しているように見えるが、実際の取扱量は減少していないとのことである。また、この件についてはANA Cargoの担当者も同意見であった。魚類に関しては、香港への輸出が圧倒的に多い。(図12)

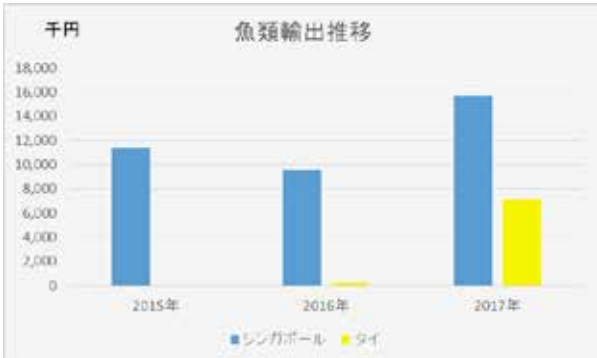


図 12



図 13 で判る通り、魚類の輸出はシンガポールやタイでも好調に推移しているが、高価にも係わらず旬の魚を買い求めるケースが多い。鮭等の飲食体験が好影響を与えていると考えられる。

図 13



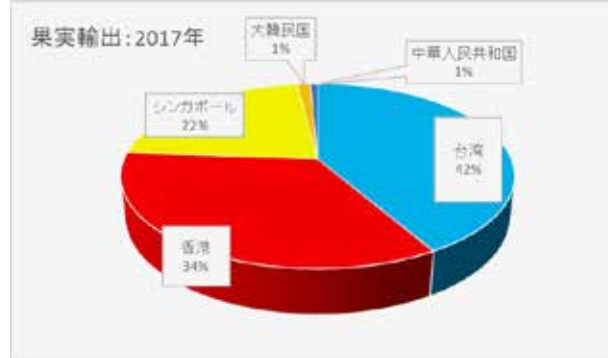
(4) 果実輸出

果実に関しては、山形の高級サクランボ等の旬の果実が香港中心に輸出されてきたが、2017年では台湾、シンガポールなどの新市場が開拓され、輸出先はアジア全域に広がっている。(図 14、図 15)

図 14



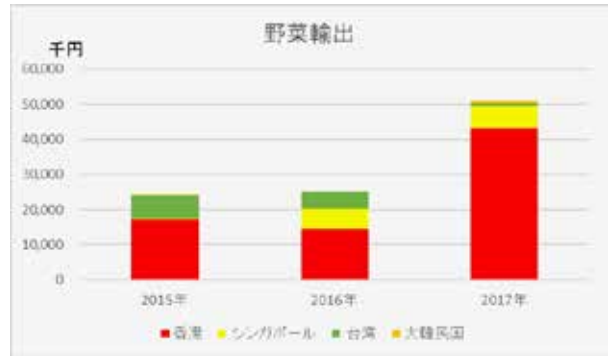
図 15



(5) 野菜

野菜類の輸出先としては、農業が産業として成立せず、かつ沖縄や日本本土での飲食体験豊富な香港が主要な輸出先であるが、香港と条件の似たシンガポールも有望な輸出先と見てよい。(図 16)

図 16



(6) 化粧品

2012年においては、ほぼ 100% 船舶による輸出であったが、近年航空便での輸出が増加している。商品自体、軽量コンパクトなものが多いが、売り場担当者からのヒアリングでは新製品キャンペーンに敏感に反応しており、購入する商品への知識も豊富になっているとのことであった。スピード感ある供給体制が求められている。

図 17



表4.那覇空港からの化粧品輸出(千円)

	2012年	2015年	2016年	2017年	対16年倍率
香港	192,554	25,405	154,400	243,796	1.6
台湾	138,691	6,015	15,811	228,424	<b>14.4</b>
韓国	0	6,015	9,420	11,066	1.2

図 18

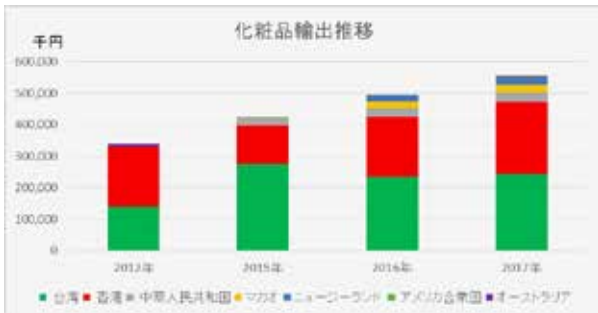


図 18 で見られる通り、化粧品の輸出先としては、台湾と香港が 90% 強を占めている。一方で那覇空港からの化粧品輸出（表 4.）を見てみると台湾市場は 2017 年前年比 14.4 倍の大幅増となっており、台湾の日本製化粧品ユーザーがよりキャンペーン等に反応するようになったと考えられる。

#### 4. おわりに

以上の分析を通して沖縄での飲食体験やサービス体験は、日本製品への信頼性を高いものとし、帰国後の購買行動に影響していると考えられる。それは多少高くなっても早く商品を手に入れたいという人々の欲求が那覇空港ハブからの輸出増につながっているとしてよいだろう。しかし、沖縄を訪れる外国籍観光客の行動は毎年のように変化し、連続的ではなくなっている。また、日本製品や沖縄への知識も年々豊富になっていることから、沖縄で得た情報は全国に公開し、日本全体で COOL JAPAN を演出すべきところまで来たと感じる。

沖縄貨物ハブがカバーする片道 4 時間圏内のアジアの都市は準国内市場と考えてよいが、沖縄県にとっては、とりわけ台湾を重要な準国内市場とみるべきである。台湾国籍のインバウンド客と国内客の違いはパスポートを持っているかないかだけとなっている。

分析を終えて感じることは、やはりデジタル化されたビッグデータの必要性である。沖縄県文化スポーツ観光部が行ったアンケートは、254 万人の外国人観光客の 0.076% に過ぎず、しかも 1 年ごとの統計結果である。

沖縄県の限られた面積や資源を考えると、詳細なビッグデータ解析に基づく素早い政策の実行が求められる。

注)

1) 沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課(2018 年 7 月 5 日)『平成 29 年度外国人観光客実態調査概要版』沖縄県庁

[http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/inbound\\_survey\\_report/h28inbound\\_survey\\_gaiyou.html](http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/kikaku/report/inbound_survey_report/h28inbound_survey_gaiyou.html)

2) 『財務省貿易統計』

<http://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.html>

# HONG KONG

## アジア便り 香港 vol.123



レポーター  
上原 和久 (琉球銀行)  
沖縄県香港事務所に向中  
(副所長)

## 香港で活躍するウチナーンチュ・ 各種イベント

### はじめに

皆様こんにちは、沖縄県香港事務所の上原です。6月、7月、8月は月に1度のペースで沖縄に帰る機会がありました。沖縄に帰る際には、だいたい大きなスーツケース（空っぽの状態）を持っていき、不足した日用品の買い足しや、食材等を買って香港に出掛けることにしています。香港に到着して空港を出る際には、日常的に入国チェックのため警備員に引き止められることがあります。7月の入国の際に、幸か不幸か引き止められてしまいました。何度か行き来しておりますが、初めての経験でした。顔がウチナー焼けていたので人相悪く？見えたのかもしれませんが。入国チェックは大雑把ですが、スーツケースの中身については全部見られるなど、面倒かつ時間を要しました。中にはゴーヤーや、島豆腐など沖縄独特の食材も入っていたため、警備員がゴーヤーに興味深そうに見ていたことが印象的でした（県産のゴーヤーは香港の日系、元日系スーパーでも普通に売っています！美味しいですよー！）。結局30分ほど足止めをされましたが、特に何も没収されることなく無事解放されました。金塊等のスーツケースによる密輸犯罪などは厳しく取り締まらないといけません。何も悪いことはしていない

のに、あれこれとチェックされるのは余り気分の良いものではありませんでした。…最近では那覇空港でもチェックが厳しくなっている印象があり、これからは双方の空港を出入りする際には、いつ何時チェックで引き止められるかドキドキです。

スーツケースとえば、香港ではデパート前などで、スーツケースに大量に商品を押し込んで人々の姿をよく見かけます。大陸から押し寄せた多くの中国人が香港のデパートや、ドラッグストアで大量に商品を買っているためです。特に、大陸にほど近い大型ショッピングモールのある地域では週末になるとモール通路の両脇に、購入した商品をスーツケースに押し込んでいる姿をよく見かけ、騒がしく通路を占領していて迷惑です。しかし、その反面、このような大量需要が香港経済の一端を担うものであることもまた、実感しております（年間5,600万人を超える香港を訪れる観光客の約4分の3は中国人）。



さて、今回のアジア便りでは、香港で活躍するウチナーンチュの紹介と各種イベントについてお伝え致します。

### 1. 香港で活躍するウチナーンチュ

27,429人（2015年度）の日本人がいるとされている香港ですが、実はウチナーンチュも結構な人数がおります。私のように駐在として来ている人や、現地採用で働いていたり、香港人（香港で働く人）と結婚して暮らしている人等、また、年齢、滞在年数、香港に来たきっかけも様々です。私と同世代の人々も何名かいて、やはりそこは沖縄らしく共通の知人がいたりします。「やっぱり沖縄狭いねー！」の決まり文句を香港で聞くとは思いませんでした。（笑）

今回ご紹介するのは、香港にて居酒屋を経営する金城雅洋さんです。料理人として大阪で働いていた金城さんは、香港を訪れた際にその雰囲気魅了されておりましたが、知人の紹介もあったご縁から、14年前、香港で沖縄居酒屋を営むグループに就職し香港生活をスタートさせました。

香港に来た頃から『いつかは自分の店を持ちたい…』という夢を抱きつつ1年ほど沖縄居酒屋に務めた後、今度は寿司店や串焼き店を営む別の飲食店グループへ転職、中でも串焼き店では料理長を務めるなどして、そのグループで12年余りを勤めました。そして香港生活13年が経過した昨年、夢実現のため独立。2017年5月24日に「Kinjo's Izakaya（居酒屋金城）」を開店しました。



沖縄出身の金城さんらしく、メニューには沖縄そばやごーやーちゃんぷるー、スクガラス、オリオンビール、泡盛などの沖縄料理はもちろん

ん、串焼き、築地から取り寄せた新鮮な刺身など、様々な料理を提供しております。

看板メニューの一つでもある「つくね」は、鶏もも肉、軟骨、玉ねぎなどを混ぜて2時間余りも「練る」、のではなく「叩いた」手作りの一品となっております。—せっせと「叩いた」ことで金城さんの二の腕もおいしく…いえ、たくましくなっておりましたよ！ オリオンビールは生ビールで提供しており、金城さんの沖縄で研修を受けた腕前から、その風味は県内で飲むビールと変わらず大変美味しく頂きました。ビールとセットで泡盛を飲む機会は数少ない香港ですが、同店では水割りやシークワサー割りなどで泡盛も楽しんでいる香港人や西洋人を見ることが出来ました。またランチタイムも営業しており、沖縄県産豚肉を使用したロースかつ定食や週変わりの丼（どんぶり）定食などのメニューを提供しております。



店舗はテーブル14席、カウンターが8席で、道路側に大きな窓を設け、外から店内の賑やかな様子が見えることも特徴の一つとなっています。『中が見えやすいことで、お客様がより入りやすい店舗にしたい』という金城さんの思いからこのような店構えとなっています。

香港では、賃料や物価の上昇、競争の激化から、飲食店経営は難しいものとされています。実際に私の住居周辺や、県事務所周辺でも、この1年くらいの間で何店舗もの入れ替わりを目にしております。金城さんが店を構える中環地区は、

特に賃料も高く、西洋人なども多く住む地域であることから、色々なレストランやバーが軒を連ねる激戦地区となっております。そんな中、開店から1年以上が経過した今でも、とにかく人気があり、平日でも予約が取れないこともしばしば。ランチタイムも連日行列ができるほどで、これは金城さんの料理の腕前はもちろん、人柄の良さ、店舗の雰囲気の高さも人気の秘訣になっていると思います。また、近隣周辺の日本人にも好評な店舗となっており、沖縄料理が味わえる居酒屋としては大人気となっております。私も良く利用させていただいてますが、ちゃんぷるーや沖縄そばを香港でも美味しく味わうことができるのは正直ありがたいですね。皆様も香港を訪れた際には是非、香港で頑張るウチナンチュのお店「Kinjo's Izakaya (居酒屋金城)」に足を運んでみてはいかがでしょうか。おススメですよ。



#### 【店舗概要】

店舗名：Kinjo's Izakaya (居酒屋金城)  
 住所：G/F, 27, Elgin Street, Soho, Central  
 (最寄駅は中環駅もしくは上環駅)  
 営業時間：11:30-15:00 18:00-23:00  
 定休日：日曜日  
 電話：(852) 2362 9992

## 2. 各種イベントについて

### 【Book fair 7月18日～24日】

7月18日～24日までの1週間にかけて、香港コンベンションセンターにてBook fair(書籍見本市)が開催されました。

沖縄県としては初出展となる本イベントですが、メイン会場では1週間で100万人以上の人が

が集まる、香港でも最大級のイベントとなっております。香港の人口が約750万人ですから7.5人に1人が来場する計算になります。書籍の見本市ですのでメインは書籍の販売となりますが、サブ会場ではジャパンパビリオンとして各地方自治体や企業がブースを構え、観光案内を中心にPRしており、沖縄県もその一環として参加致しました。メイン会場ほどではありませんが、旅行好きの香港人らしく、ジャパンパビリオンにも多くの方が来場し賑わいを見せておりました。

沖縄ブースではパンフレットの配布による観光PRの他、4月に新たに沖縄観光本(私も少し写っている)を発売した出版会社や、沖縄旅行を取扱っている旅行代理店にもご参加いただき、観光本は7日間で79冊の販売、旅行商品は、販売4件、相談が90件という実績がありました。他の観光関連イベントへも出展はしておりますが、本イベントは来場者も多く、情報収集に熱心な方も多かったため非常に良いPRになったと思います。



【八重山写真展&トークショー 7月21日(写真展は～8月12日まで)】

& Greenという日本人の方が経営するカフェにて、SONY専属カメラマンによる八重山のトークショー及び写真展が開催されました。

SONY ファン、同専属カメラマンのファンや、八重山ファンが集まった同イベントは開催の告知から2日程で応募が入場定員（70名）に達するなど、注目度の高さを感じました。イベント当日には、専属カメラマンによるトークショーの中で、島の風景や食事の写真がエピソードとともに紹介されましたが、景勝地の写真への興味はもちろん、肉好きの香港人らしく、肉料理の写真が紹介された時には参加者も身を乗り出して写真を撮るなど大盛況となりました。

トークショー終了後には、美崎牛のハンバーグと石垣産パイナップルの試食が振る舞われ、八重山の観光だけでなく物産も併せてPRされました。興味のあるファン層へ趣向を凝らし、より深くPRできた今回のイベントは、通常の展示会で不特定多数の来場者にPRするイベントとは一味違った良さがあり、来場者自身が実際にカメラを手に八重山を訪れる機会も増えるのではないかと期待されます。

\*きれいな写真が撮れるスポットにグルメを合わせたインスタ映えのツアー企画……\*  
イイですよ！



#### 【MUJI 料理教室 7月28日】

香港の料理スタジオにて、沖縄より講師をお招きして、沖縄食材を使用した料理教室を開催

しました。

MUJI（香港の無印）カフェにて3月から9月までの期間、沖縄メニューを提供している関係から本イベントには、MUJIの呼びかけで集まった総勢15名が参加しました。参加者は全員香港人で、普段あまり料理をしない人も多く、また沖縄食材についてあまり知らない人もいらっしゃいました。

調理の前には、沖縄食材の特徴や健康食としての秘訣も説明され、他の県産品や、購入できる店舗の紹介も行い、家庭での沖縄食材のさらなる消費に繋がるようなイベントとなりました。今回作成したメニューは、①ゴーヤーちゃんぷるー、②ミヌダル、③ふーたしゃー、④もずくスープ、⑤紅芋ペーストの菓子で、このうち①、②については実際に参加者も調理、③、④、⑤については講師のデモの形式で行われました。参加者は3名1組で講師の説明やレシピを確認しながら調理に奮闘しておりました。初めて扱う食材に悪戦苦闘しながらも美味しく出来上がった完成品は、みんなで写真を撮ったり、家族へのおみやげで持ち帰りにしたりと、思い思いに楽しんでおられました。

追伸：

料理が苦手な私も、説明を聞いて調理法を勉強することができ、後日ゴーヤーちゃんぷるーを美味しく作ることが出来ましたよ。（嬉）





### 最後に

香港のスーパーマーケットです。これまで日系、元日系の店舗をご紹介してきましたが、今回からローカルのスーパーマーケットを紹介いたします。

ローカルのスーパーマーケットは「Dairy farm」と「Watosons」の2大グループに分かれており、それぞれがロウアー層からアッパー層と顧客の階層別に店舗名を変えて展開しております。階層が上がるほどこれに対する店舗は装いを変えて、海外産の商品や高価な商品の取扱いも多くなります。店舗数はロウアー層向けの店舗が圧倒的な割合を占め、各地に展開し一般市民の生活に広く根付いております。そんなローカルスーパーマーケットから、最も店舗数の多い「wellcome」をご紹介します。

ちなみに私の住居からも近く、手ごろな値段で買い物ができるため、一番よく利用する店舗です。ところで、ディスカウントされた賞味期限ぎりぎりの豚肉を買ったら、買い損だった…こともありました。(苦笑)



### 【店舗概要】

店 舗：wellcome (Dairy farm グループ)

店舗数：200 店舗以上

客 層：ロウアー層

県産品：約3品目(塩、ビール、黒糖)

特 徴：2大ローカルスーパーの一つで店舗数は最も多い。PB(独自)商品も多数あり(ウェルカムブランド「No Frills」特恵牌)。陳列が粗い、棚間隔が狭いなど、快適な店作りではないが、大衆店である。地元客中心に利用者は多い。中国産をはじめとした低価格商品が多い。

※品目数は事務所調べ(H30.3)、時期によって変動します。

当所では、日頃から県内企業・個人の皆様から香港に関する多くのご質問を頂いております。香港に関することにつきまして、ぜひ是非お気軽にお問い合わせください。

再見!

沖縄県香港事務所

Tel : (852) 2968-1006

Fax : (852) 2968-1003

E-mail : okinawaopg@biznetvigator.com

## 🔊 入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を实践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

### サービスの ご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供  
ビジネスクラブ会員企業トップと弊社役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

【最近の実績】

- H29.2.22 トップセミナー「経営戦略としてのワークライフバランス」
- H29.6.20 「業績向上！営業リーダーの条件と役割」
- H29.8.17 「インバウンドビジネス成功戦略」
- H29.11.13 女性限定セミナー（講演＆ヨガ）

■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

【内容例】

- ・「仕事が速い人」の時間の使い方
- ・実践「営業トーク」集
- ・好かれる人の「気づかい」
- ・ビジネスモデルをつくった人々

■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。  
※1社につき年1回ご利用になれます。

■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。  
※別途受講料が必要になります。

【著名な講師例】

- ・第1期 酒巻 久 キヤノン電子株式会社社長
- ・第2期 鈴木 喬 エステー株式会社会長
- ・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険株式会社CEO
- ・第4期 宗次 徳二 株式会社番屋 創業者特別顧問
- ・第5期 高田 明 株式会社A and Live 代表取締役
- ・第6期 橋本 真由美 フックオフコーポレーション株式会社取締役相談役
- ・第7期 小島 英揮 Still Day One(同)代表社員パラレルマーケター・イベントジェネリスト/CMC\_Meetup発起人

■「経営関連情報」の定期配信

経営のお役に立つ情報をコンパクトにまとめた「りゅうぎんビジネスフラッシュ」を毎週配信いたします。

【内容例】

- ・「論理的思考」が身に付く鉄則5選
- ・管理職の労務管理に関するQ&A
- ・会議の効率化・改善のヒントを探る
- ・報酬・謝礼支払いに関わる税務Q&A

### その他の サービス

■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品（ベストサポーター、順風満帆）について、融資金利の優遇を実施しております<sup>1</sup>。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ  
入会申込方法  
年会費 20,000円

- 1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。
- 2 入会金は不要です。
- 3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行法人事業部内)

**TEL: 098-860-3817** (担当: 照屋、真栄城) までお願いいたします。

<sup>1</sup> 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。



当たれば最高  
10億円の  
チャンス



※キャリーオーバー発生時(理論値) ※ロトセブン, 1口300円購入時

# ATM宝くじ

## 好評発売中!!



### 当せん金の受取忘れなし

りゅうぎんATMで数字選択式の宝くじを購入できるサービスです。  
当せん金は自動で振込まれますので、受取忘れもありません。



ロトセブン



ロトシックス



ミニロト



ナンバーズフォー



ナンバーズスリー

詳しくは、りゅうぎん窓口またはHPまで

平成30年1月11日現在

## 沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について アジア市場の獲得に向けて ～沖縄国際ハブクラスター事業 の取組～

今後、沖縄経済の発展には、成長著しいアジア市場を取り込むことが必要です。

このため、内閣府沖縄総合事務局経済産業部では、産学金官による「沖縄国際ハブクラスター」を形成し、アジア市場を確実に取り込むため、沖縄の地域特性を活かしたビジネス環境の整備や企業の海外展開の支援に取り組んでいます。

具体的には琉球泡盛海外展開、人材育成、モノづくりや物流事業への補助、大交易会への参画ですが、この中から、最近の取り組みをご紹介します。

### (1) 貿易中核人材育成研修が始動！

一般社団法人沖縄県貿易協会（会長：新垣金子（株）新垣通商社長）以下、貿易協会）では沖縄型産業中核人材育成事業（平成30年度内閣府委託事業）を活用して、沖縄の商流及び物流機能を軸とする貿易（中継・加工含む）に必要な知識・スキルを習得するための商談型人材育成研修を8月から始めています。

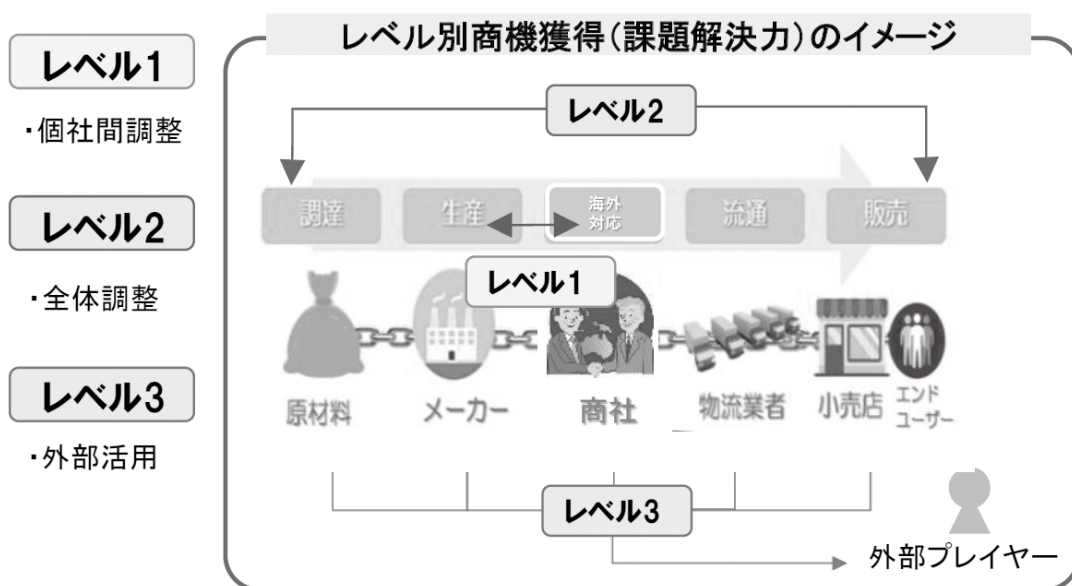
稼げる貿易を実現するためには、農水産品、工業製品等の生産者から、陸海空の物流、地域商社等様々な企業や団体が係わっており、市場ニーズに柔軟に対応し、生産者から海外消費者まで一連の流れを全体最適化することが必要です。沖縄貿易人材育成研修では3段階のレベルを設けたプログラムになっています。

[レベル1] 自社の機能などの理解、相手のニーズ・課題の把握、既存商品・サービスを販売できる人材

[レベル2] 取引相手の顧客やサプライチェーン上の各プレイヤーのニーズ・課題を把握し、既存商品・サービスを販売できる人材

[レベル3] サプライチェーン全体を見渡し、新たな商品・サービスを創出し提案・販売できる人材

このような人材を育成することにより、これまで取りこぼしていた商機の獲得やお互いの利害調整など、サプライチェーン上の各業界が協力し、海外市場獲得に向け、競争力を強化します。



## (2)「いいね！ AWAMORI展」大交易会併催事業開催！

沖縄の貴重な地場産業である泡盛製造業の活性化を図るため、平成29年度より関係団体、地方公共団体、関係府省などが参加し「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を立ち上げ、酒造所が主体となって海外への販路開拓などに向けた取組を官民一体となり後押しをしています。

沖縄県酒造組合による海外クルーズ船で琉球泡盛の提供といったインバウンド向けプロモーションや、JETRO 沖縄による今年4月に開催された島酒フェスタでの輸出相談会等、様々な泡盛輸出拡大に向けた取組がされています。

沖縄総合事務局では、これら関係機関と連携しながら各部で支援を行っています。総務部では酒造所等による海外展開の先進的・モデル的な取組や、同じく沖縄の地域資源である空手とコラボした取組への支援等を行っています。また、経済産業部では、欧米における泡盛海外展開(ハードリカープロジェクト)の支援を行っています。

平成30年度大交易会の併催事業では、沖縄県酒造組合と共に、来場する海外・国内バイヤーを対象に泡盛の認知度向上を目的として、「いいね！ AWAMORI展」を開催します。

琉球泡盛海外輸出プロジェクトの紹介や、海外市場から見たブランド戦略・商品づくりをテーマに、欧米等における泡盛の海外展開の取組紹介を始め、国産長粒米による泡盛づくりの展示や試飲会を開催します。(参加無料)

### 【日時】

平成30年11月29日(木)・30日(金)  
10:00～17:00

### 【場所】

沖縄コンベンションセンター会議棟A 会議場A3

### 【お問合せ】

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 商務通商課  
TEL: 098-866-1731

(琉球泡盛海外輸出プロジェクト)

<http://www.ogb.go.jp/soumu/017012>



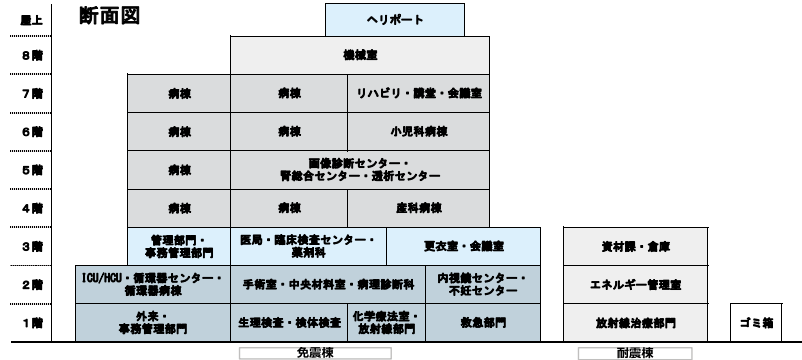
■本記事に関するお問い合わせについて  
内閣府沖縄総合事務局経済産業部商務通商課

**TEL:098-866-1731**(担当:安慶田、城間)

<http://www.ogb.go.jp/keisan/index.html>

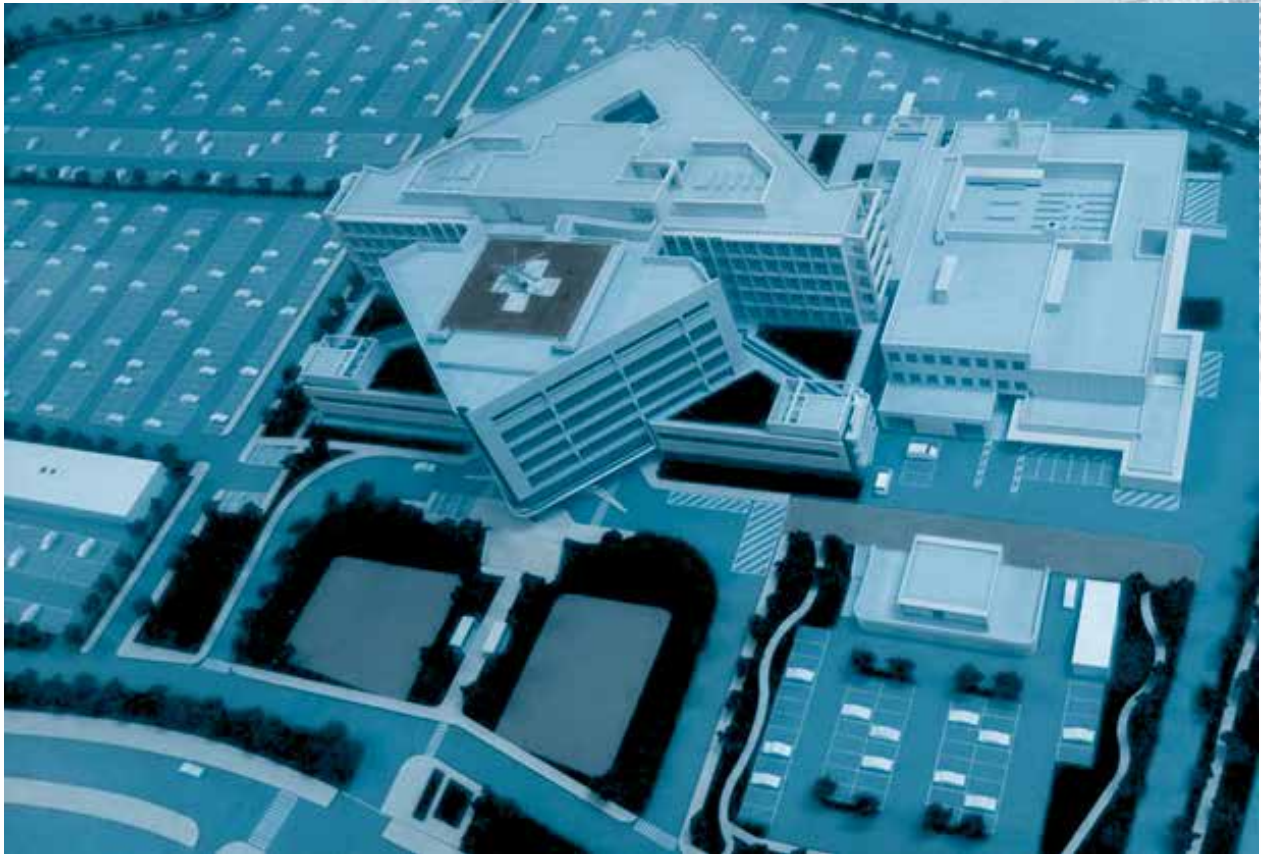
# 県内大型プロジェクトの動向

事業名：社会医療法人友愛会 豊見城中央病院移転新築工事  
種別：公共 **民間** 3セク

関係地域	豊見城市
事業主体	主体名：社会医療法人友愛会 豊見城中央病院(理事長 比嘉國郎) 住 所：沖縄県豊見城市上田25番地 電話：098-850-3811
事業目的	築30年を超え、老朽化・狭隘化や診療諸室の分散した配置構成、また敷地および周辺環境における駐車場の狭さなどの現施設の抱える問題を新築移転により解決し、医療の質と患者サービスの向上を図る
事業期間	平成29年8月～平成32年春
事業規模	病床数 378床
事業概要	<p>所在地：豊見城市宇与根50番3 豊見城カントリークラブ跡地 敷地面積：80,349.00㎡(約24,000坪) 延床面積：48,848.45㎡(約14,500坪) 階 数：地上8階(免震棟)、地上3階(耐震等) 構 造：鉄筋コンクリート造 駐 車 場：約700台 主な配置：外来診療、病棟(378床)、救急、手術、ヘリポートなど</p>  <p>(図は社会医療法人友愛会豊見城中央病院提供)</p>
経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年3月 土地契約</li> <li>平成27年9月 基本設計・実施設計完了</li> <li>平成28年10月 工事開始に伴う近隣住民説明会開催</li> <li>平成29年8月 建設工事に着手</li> </ul>
現況及び見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊見城中央病院は、これまで急性期医療や24時間の救急医療などの高度医療を担い、災害拠点病院、地域医療支援病院の取得など地域の中核的医療機関として安心安全な医療に努めてきた。</li> <li>現施設は、築30年を超え、老朽化・狭隘化や診療諸室の分散した配置構成、また敷地および周辺環境における駐車場の狭さなどの諸問題に対して改善が求められていた。</li> <li>今後の患者への影響、行政の方向性、病院の将来の拡張性を考慮し、「現地建替」、「近隣土地への拡張」、「新築移転」などの手法により問題を改善するという方向性を検討した結果、「新築移転」に取り組むことが決定された。</li> <li>新病院は以下のコンセプトで計画中。             <ol style="list-style-type: none"> <li>救急機能の拡充</li> <li>災害に強い病院作り(免震構造)</li> <li>専門医療機能強化(領域別センター制の設置)</li> <li>集学的がん治療体制確立(放射線治療機器の導入等)</li> <li>新規事業(エネルギーサービスプロバイダー事業、ニュークックチル導入)</li> </ol> </li> </ul>

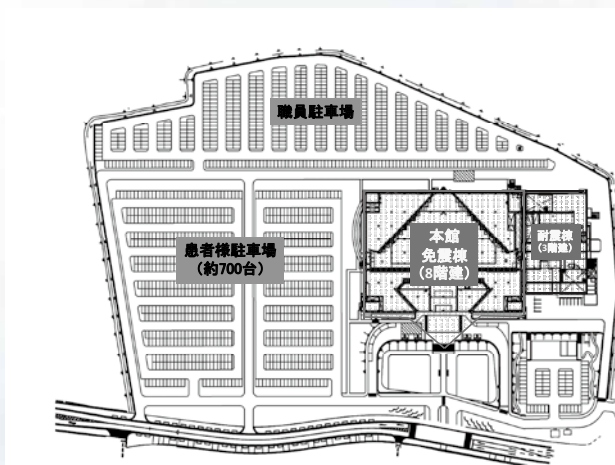
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は、免震上部基礎躯体工事が進捗中である。</li> <li>・平成30年8月時点の工事ベースの進捗率は20.1%で、平成32年春の竣工に向けて建築工事をすすめていく。</li> </ul>
熟 度	<input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input checked="" type="checkbox"/> 工事段階 <input type="checkbox"/> 開業・供用段階

完成イメージ図



(図は社会医療法人友愛会豊見城中央病院提供)

配置計画



現況(免震上部基礎躯体工事、平成30年8月撮影)



(図および画像は社会医療法人友愛会豊見城中央病院提供)

## ●りゅうぎん調査● 県内の

# 景気動向

概況 2018年7月

### 景気は、拡大の動きに一服感がみられる

消費関連では、百貨店が前年を上回る

観光関連では、入域観光客数が前年を下回る

7月の県内景気を見ると、消費関連では、百貨店は中元ギフトの早期の販促強化で食料品などが好調だったことなどから前年を上回り、スーパーは台風や前年より気温が低く推移した影響で食料品や衣料品の動きが鈍く前年を下回った。耐久消費財では、新車販売はレンタカー需要の好調で前年を上回り、電気製品卸売はエアコンや太陽光発電システムの減少で前年を下回った。

建設関連では、公共工事は国、市町村は減少したことから前年を下回った。建築着工床面積(6月)は、非居住用が減少したことから前年を下回った。新設住宅着工戸数(6月)は、貸家が増加したことから前年を上回った。建設受注額は、民間工事が減少したことから前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数は70カ月ぶりに前年を下回った。国内客、外国客ともに前年を下回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。

7月は西日本豪雨の影響や県内外に相次いで接近した台風の影響で弱い動きとなったが、基調は変わっていない。総じてみると、消費関連と観光関連が概ね好調となり、建設関連は概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きに一服感がみられた。

## 消費関連

百貨店売上高は、中元ギフトの早期の販促強化で食料品などが好調だったことなどから4カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、台風や前年より気温が低く推移した影響がみられた。既存店ベースは、食料品や衣料品は夏物商品の動きが鈍かったことなどから減少し、住居関連はエアコンや寝具の不振などから減少し、2カ月ぶりに前年を下回った。全店ベースは11カ月ぶりに前年を下回った。新車販売台数は、レンタカー需要の好調などから2カ月ぶりに前年を上回った。電気製品卸売販売額は、エアコンや太陽光発電システムの減少などから2カ月連続で前年を下回った。

先行きは、8月も気温が前年より低く推移する影響を受け、夏物商材を中心に消費マインドの弱含みが見込まれることから、概ね好調となるとみられる。

## 建設関連

公共工事請負金額は、県、独立行政法人等・その他は増加したが、国、市町村は減少したことから、3カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積(6月)は、居住用は増加したが、非居住用は減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数(6月)は、持家、給与、分譲は減少したが、貸家は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は増加したが、民間工事は減少したことから3カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは前年を下回り、生コンは公共工事、民間工事向けともに出荷が減少したことから前年を下回った。鋼材は一部で工事着工の遅れにより出荷が減少したことから前年を下回り、木材は住宅関連工事向け出荷の増加などから前年を上回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

## 観光関連

入域観光客数は、70カ月ぶりに前年を下回った。国内客は3カ月連続で前年を下回り、外国客は17カ月ぶりに前年を下回った。外国客は、空路利用客は増加したが、海路利用客は減少した。方面別に寄与度でみると台湾は増加したが、中国本土、韓国、香港は減少した。

県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。主要観光施設入場者数は4カ月連続で前年を下回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに6カ月ぶりに前年を下回った。

7月は西日本豪雨の影響や県内外に相次いで接近した台風の影響で弱い動きとなった。

先行きは、アジア方面からの外国客の旅行需要は依然として根強いことや航空路線の拡充などから、基調は変わっていないものの、8月も台風の影響があることから、概ね好調に推移するものとみられる。

## 雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比5.5%増となり3カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業、サービス業などで増加し、建設業、製造業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.14倍と、前月より0.01ポイント上昇した。完全失業率(季調値)は2.6%と前月より0.6%ポイント改善した。

消費者物価指数は、食料や光熱・水道などの上昇により、前年同月比0.9%増と22カ月連続で前年を上回った。

企業倒産は、件数が6件で前年同月を1件上回った。負債総額は56億9,700万円で前年同月比1,605.7%の増加だった。

# 2018.7

りゅうぎん調査

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 ( 2018.5-2018.7 )
<b>消費関連</b>		
(1) 百貨店(金額)	0.9	3.7
(2) スーパー(既存店)(金額)	▲ 2.9	▲ 1.4
(3) スーパー(全店)(金額)	▲ 0.1	1.6
(4) 新車販売(台数)	2.8	5.8
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 17.0	▲ 4.6
<b>建設関連</b>		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 40.6	▲ 28.7
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(6月) ▲ 14.5	(4-6月) ▲ 2.2
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(6月) 28.8	(4-6月) 3.3
(4) 建設受注額(金額)	▲ 40.8	▲ 8.3
(5) セメント(トン数)	▲ 13.3	▲ 1.9
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	▲ 12.5	▲ 2.2
(7) 鋼材(金額)	▲ 6.8	▲ 3.6
(8) 木材(金額)	10.4	16.4
<b>観光関連</b>		
(1) 入域観光客数(人数)	▲ 2.6	3.2
うち外国客数(人数)	▲ 0.6	14.4
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) ▲ 3.1 (実数) 82.8	(前年同期差) ▲ 1.4 (実数) 78.0
(3) " 売上高(金額)	▲ 4.0	▲ 3.8
(4) 観光施設入場者数(人数)	▲ 10.3	▲ 8.5
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 16.6	▲ 2.2
(6) " 売上高(金額)	▲ 16.1	▲ 3.0
<b>その他</b>		
(1) 県内新規求人数(人数)	5.5	0.0
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 1.14	(実数) 1.13
(3) 消費者物価指数(総合)	0.9	0.6
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 1	(前年同期差) 4
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(6月) ▲ 0.8	(4-6月) ▲ 0.6

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

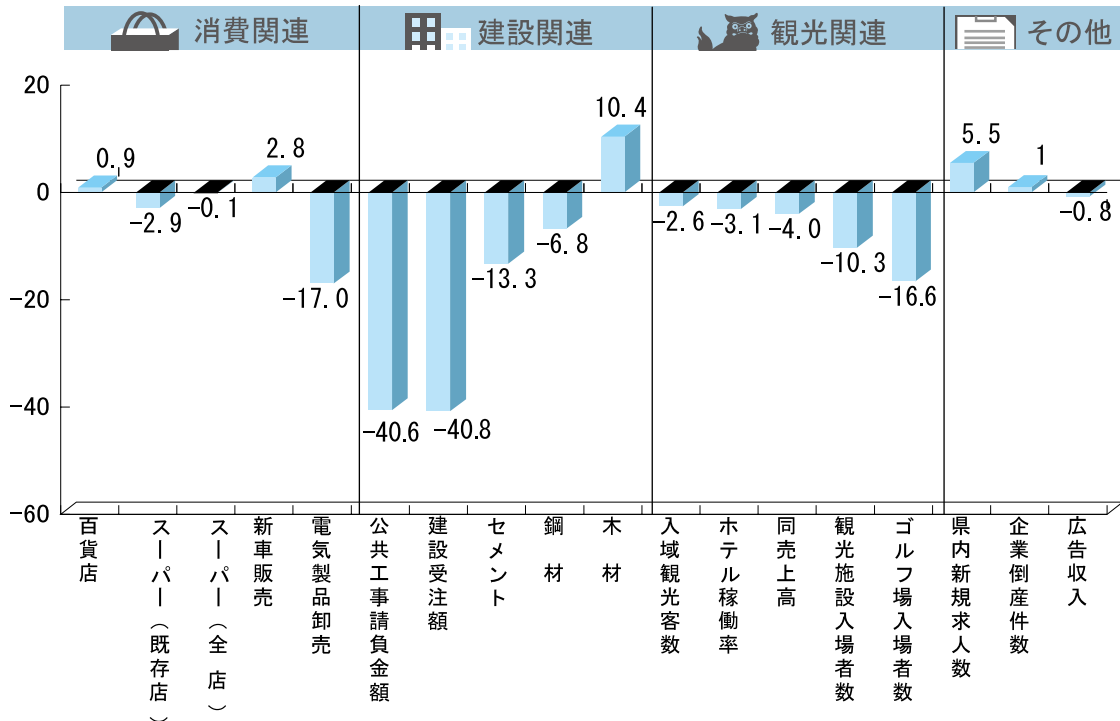
(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

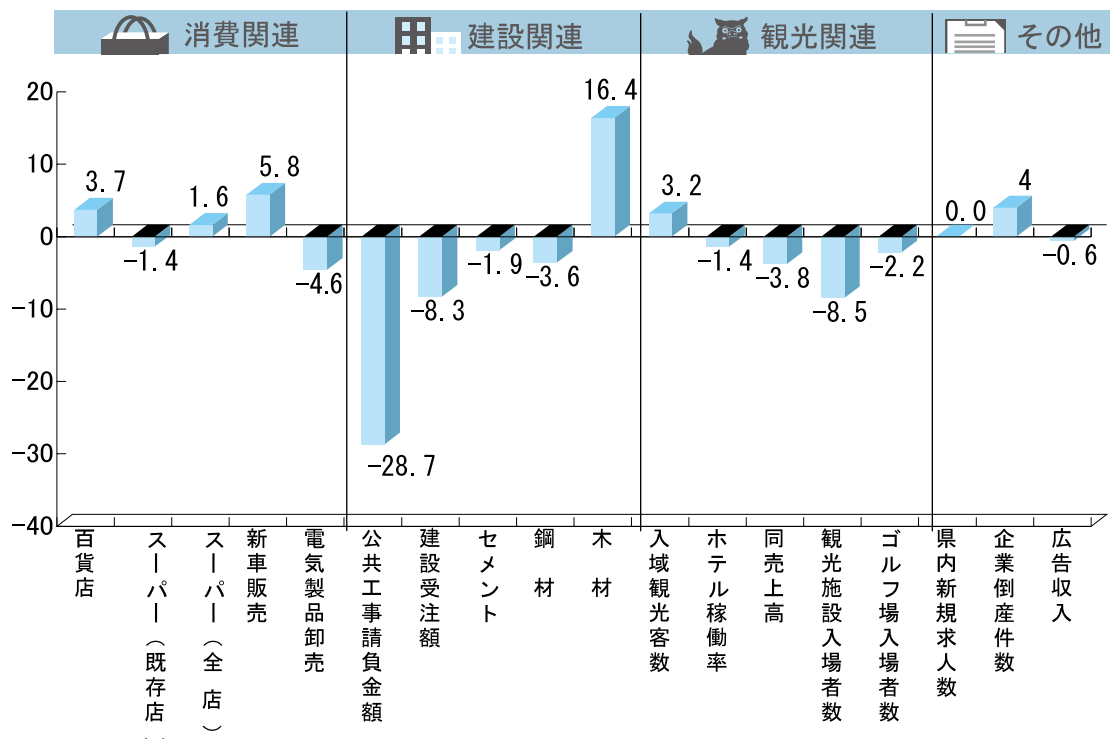


項目別グラフ 単月 2018.7



(注) 広告収入は18年6月分。数値は前年比(%)。  
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

項目別グラフ 3カ月 2018.5~2018.7



(注) 広告収入は18年4月~18年6月分。数値は前年比(%)。  
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

消費関連

建設関連

観光関連

その他



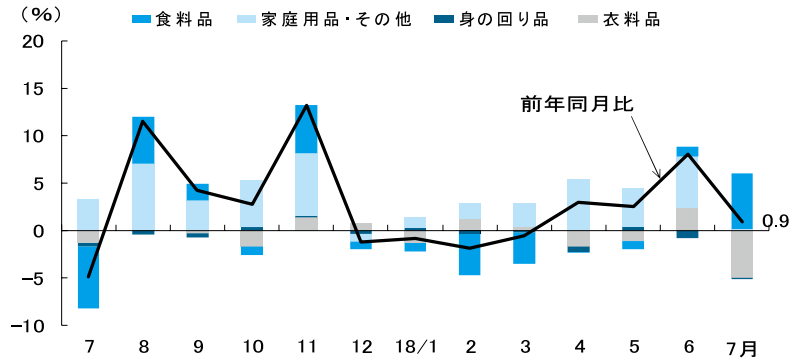
# 消費関連

## ① 百貨店売上高 (前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 4カ月連続で増加

- 百貨店売上高は、前年同月比0.9%増と4カ月連続で前年を上回った。台風接近で集客に影響を受けたものの、食料品は中元ギフトの早期の販促強化で中元商戦が好調だったことから増加、家庭用品・その他は商品券や化粧品の伸長などから増加した。衣料品はクリアランスセールを6月に前倒した反動減もみられ、身の回り品はバッグが鈍かったことなどから減少した。
- 品目別にみると、食料品(同26.0%増)、家庭用品・その他(同0.4%増)は増加し、衣料品(同14.5%減)、身の回り品(同1.6%減)は減少した。

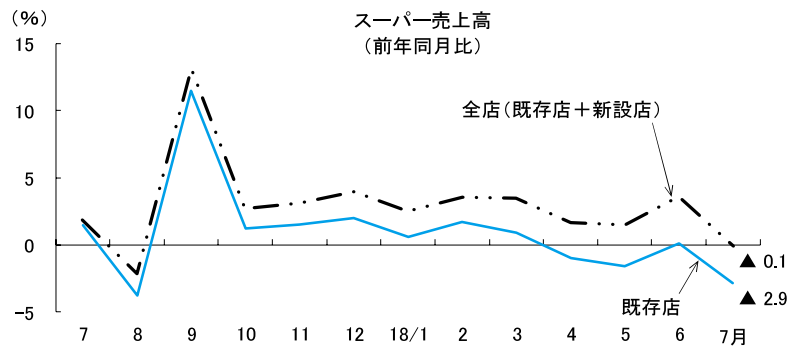


(注)2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。  
出所:りゅうぎん総合研究所

## ② スーパー売上高(前年同月比)

### 全店ベースは11カ月ぶりに減少

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比2.9%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- 台風の接近や気温が前年より低く推移した影響がみられ、食料品は飲料などの夏物商品や青果の動きが鈍かったことなどから同1.3%減となった。衣料品は、夏物衣料の需要減少などから同9.9%減となった。住居関連は、エアコンや寝具の不振などから同6.0%減となった。
- 全店ベースでは同0.1%減と11カ月ぶりに前年を下回った。



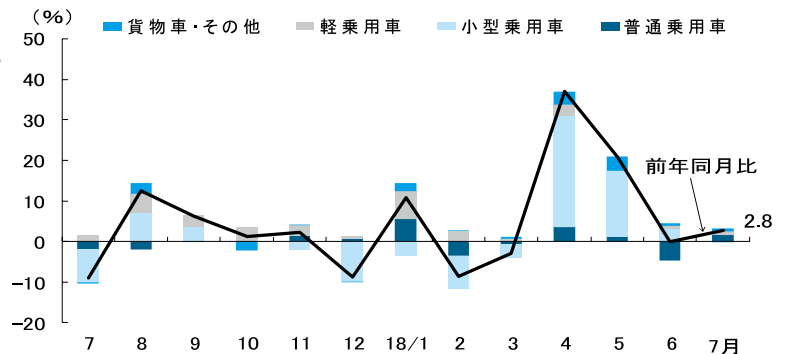
出所:りゅうぎん総合研究所

## ③ 新車販売台数 (前年同月比)

※棒グラフは車種別寄与度

### 2カ月ぶりに増加

- 新車販売台数は6,252台となり、前年同月比2.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。普通自動車は、自家用車は減少したものの、レンタカー需要が引き続き好調なことなどから前年を上回った。軽乗用車はレンタカー需要が増加したことなどから前年を上回った。
- 普通自動車(登録車)は3,898台(同2.9%増)で、うち普通乗用車は902台(同13.0%増)、小型乗用車は2,744台(同0.8%減)であった。軽自動車(届出車)は2,354台(同2.6%増)で、うち軽乗用車1,972台(同2.6%増)であった。



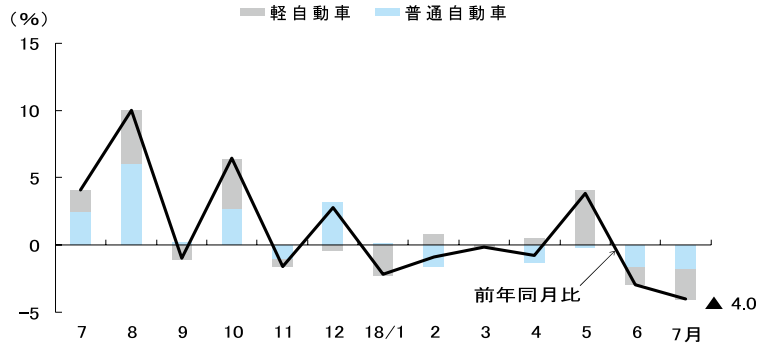
出所:沖縄県自動車販売協会

#### ④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

##### 2カ月連続で減少

- ・中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は1万7,897台で前年同月比4.0%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・内訳では、普通自動車は7,253台(同4.4%減)、軽自動車は1万644台(同3.8%減)となった。



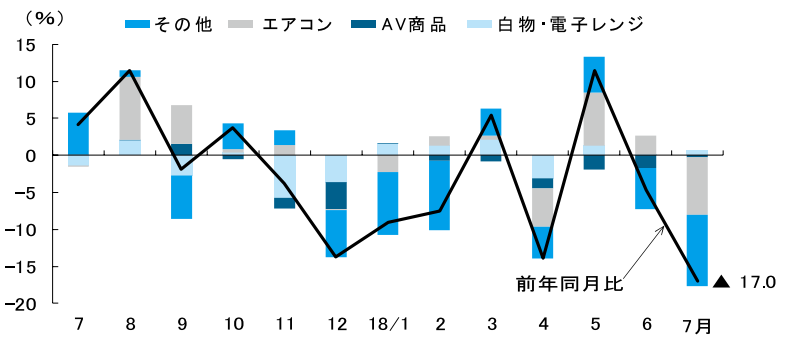
出所:沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

#### ⑤ 電気製品卸売販売額(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

##### 2カ月連続で減少

- ・電気製品卸売販売額は、台風接近や気温が低く推移した影響でエアコンが減少したことや太陽光発電システムの需要減少などから、前年同月比17.0%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同13.7%減、テレビが同0.8%減、白物では洗濯機が同3.1%減、冷蔵庫が同15.9%増、エアコンが同27.8%減、太陽光発電システムを含むその他は同21.2%減となった。



出所:りゅうぎん総合研究所

消費関連

建設関連

観光関連

その他

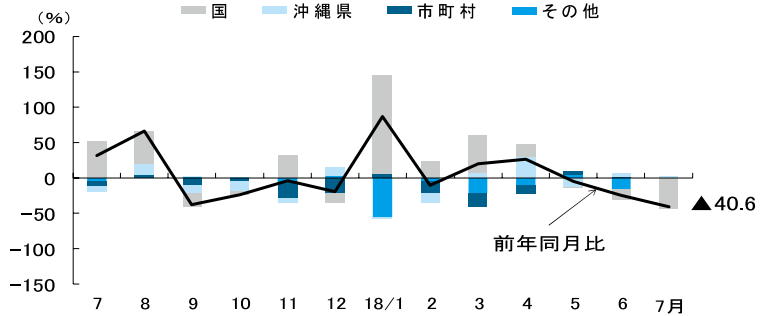
# 建設関連

## ① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

### 3カ月連続で減少

- ・公共工事請負金額は、267億2,900万円で、県、独立行政法人等・その他は増加したが、国、市町村は減少したことから、前年同月比40.6%減となり、3カ月連続で前年を下回った。
- ・発注者別では、国(同71.1%減)、市町村(同0.3%減)は減少し、県(同10.9%増)、独立行政法人等・その他(同113.6%増)は増加した。



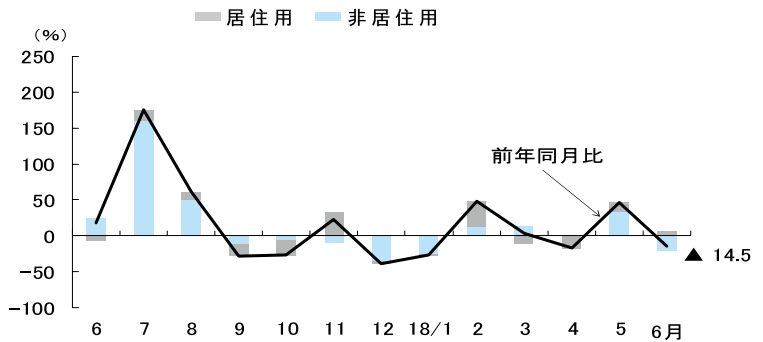
出所:西日本建設業保証株式会社沖縄支店

## ② 建築着工床面積

※棒グラフは用途別寄与度

### 2カ月ぶりに減少

- ・建築着工床面積(6月)は18万9,066㎡となり、居住用は増加したが、非居住用は減少したことから、前年同月比14.5%減と2カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同16.0%増となり、非居住用は同40.7%減となった。
- ・建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用の項目で増加した。非居住用では、医療、福祉用や不動産業が増加し、公務用や飲食店・宿泊業用などが減少した。



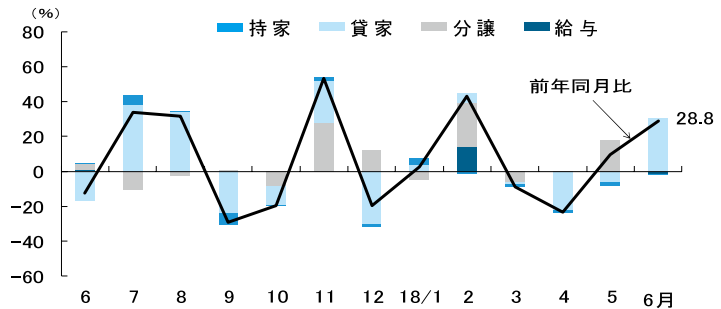
出所:国土交通省

## ③ 新設住宅着工戸数

※棒グラフは利用関係別寄与度

### 2カ月連続で増加

- ・新設住宅着工戸数(6月)は1,730戸となり、持家、給与、分譲は減少したが、貸家は増加したことから、前年同月比28.8%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・利用関係別では、貸家(1,168戸)が同54.1%増と増加し、持家(288戸)が同0.3%減、給与(0戸)が全減、分譲(274戸)が同0.4%減と減少した。



出所:国土交通省 ※給与は、社宅や宿舎などのこと。

消費関連

建設関連

観光関連

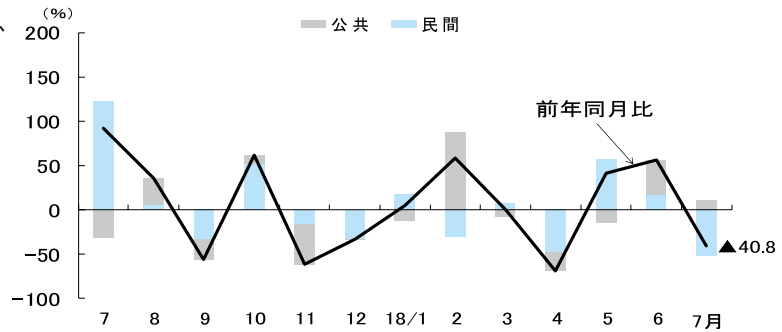
その他

#### ④ 建設受注額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

##### 3カ月ぶりに減少

- 建設受注額(調査先建設会社:18社)は、公共工事は増加したが、民間工事は減少したことから、前年同月比40.8%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- 発注者別では、公共工事(同248.7%増)は2カ月連続で増加し、民間工事(同54.2%減)は3カ月ぶりに減少した。

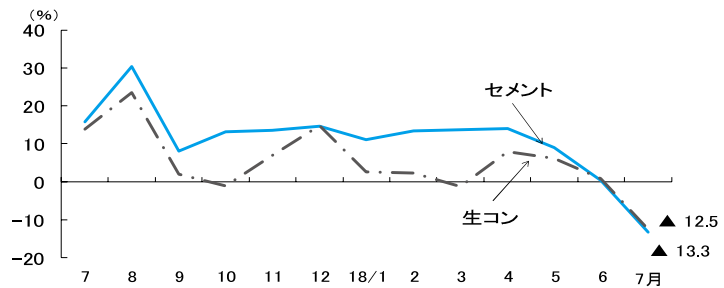


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ セメント・生コン(前年同月比)

##### セメントは20カ月ぶりに減少、生コンは4カ月ぶりに減少

- セメント出荷量は7万3,875トンとなり、前年同月比13.3%減と20カ月ぶりに前年を下回った。
- 生コン出荷量は12万9,696m<sup>3</sup>で同12.5%減となり、公共工事、民間工事向けともに出荷が減少したことから4カ月ぶりに前年を下回った。
- 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、空港関連向け出荷などが増加し、学校関連向け出荷などが減少した。民間工事では、商業施設向け出荷などが増加し、貸家工事向け出荷などが減少した。
- セメント、生コンともに、台風や悪天候の影響をうけ前年を下回った。

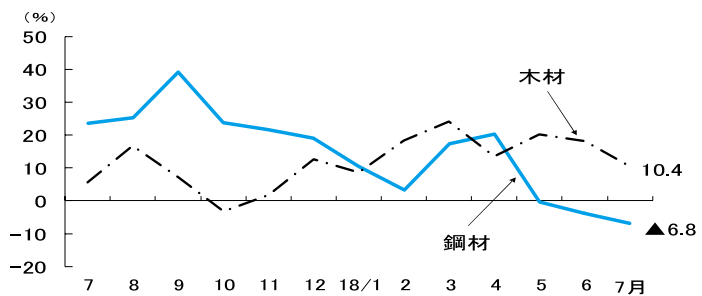


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 鋼材・木材 (前年同月比)

##### 鋼材は3カ月連続で減少、木材は9カ月連続で増加

- 鋼材売上高は、一部で工事着工の遅れにより出荷が減少したことから前年同月比6.8%減と3カ月連続で前年を下回った。
- 木材売上高は、住宅関連工事向け出荷の増加などから同10.4%増と9カ月連続で前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

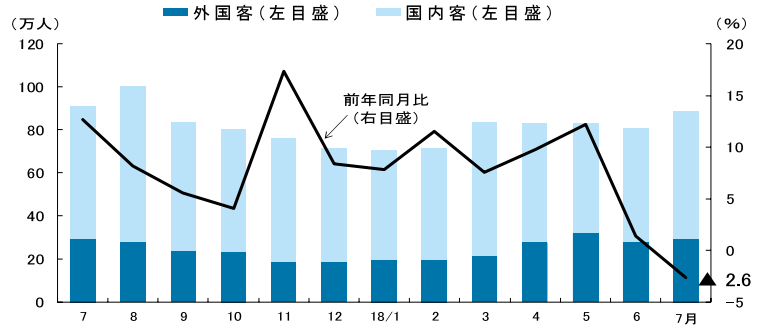


# 観光関連

## ① 入域観光客数(実数、前年同月比)

### 70カ月ぶりに前年を下回る

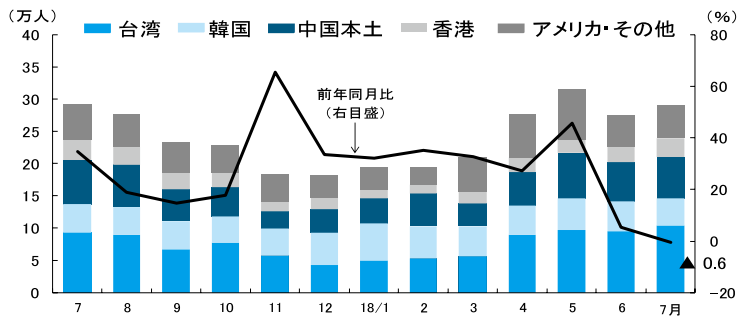
- ・入域観光客数は、88万4,100人(前年同月比2.6%減)となり、70カ月ぶりに前年を下回った。7月上旬に発生した西日本豪雨(平成30年7月豪雨)の影響、県内外に相次いで接近した台風による航空便の欠航やクルーズ船の寄港中止、などにより弱い動きとなった。
- ・路線別では、空路は75万5,100人(同2.0%減)となり70カ月ぶりに前年を下回った。海路は12万9,000人(同5.8%減)となり2カ月連続で前年を下回った。
- ・国内客は、59万3,300人(同3.6%減)となり3カ月連続で前年を下回った。



## ② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

### 17カ月ぶりに前年を下回る

- ・入域観光客数(外国客)は、29万800人(前年同月比0.6%減)となり、17カ月ぶりに前年を下回った。空路は16万6,100人(同3.0%増)と66カ月連続で前年を上回り、海路は12万4,700人(同5.1%減)と2カ月連続で前年を下回った。
- ・国籍別では、台湾10万4,400人(同13.0%増)、中国本土6万4,800人(同6.8%減)、韓国4万1,700人(同5.9%減)、香港2万8,000人(同8.8%減)、アメリカ・その他5万1,900人(同7.0%減)となった。

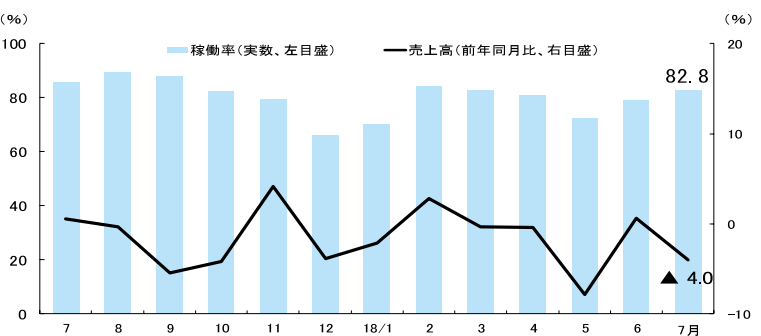


出所: 沖縄県観光政策課

## ③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

### 稼働率は2カ月ぶりに低下、売上高は2カ月ぶりに減少

- ・主要ホテルは、客室稼働率は82.8%となり、前年同月比3.1%ポイント低下し2カ月ぶりに前年を下回った。売上高は同4.0%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・那覇市内ホテルは、客室稼働率は80.6%と同3.0%ポイント低下し5カ月連続で前年を下回り、売上高は同0.8%減と2カ月ぶりに前年を下回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は84.1%と同3.2%ポイント低下して5カ月ぶりに前年を下回り、売上高は同4.9%減と2カ月ぶりに前年を下回った。



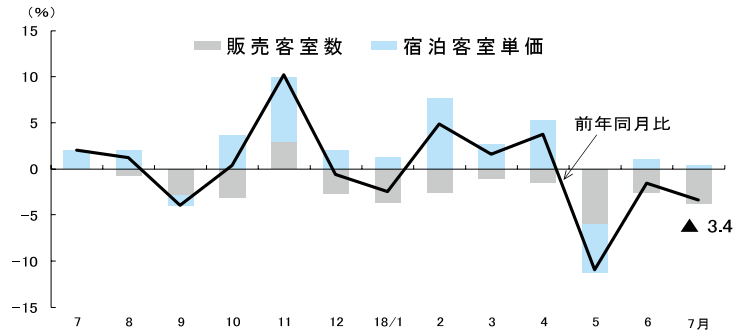
出所: りゅうぎん総合研究所

#### ④ 主要ホテル宿泊収入 (前年同月比)

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

##### 3カ月連続で減少

- ・主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数(数量要因)は減少し、宿泊客室単価(価格要因)は上昇となり、前年同月比3.4%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテルは、販売客室数は減少し、宿泊客室単価は上昇となり、同0.6%増と3カ月ぶりに前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同4.1%減と3カ月連続で前年を下回った。

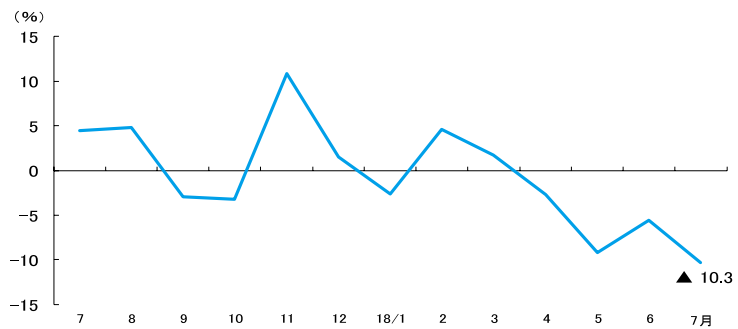


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ 主要観光施設の入場者数(前年同月比)

##### 4カ月連続で減少

- ・主要観光施設の入場者数は、前年同月比10.3%減となり、4カ月連続で前年を下回った。



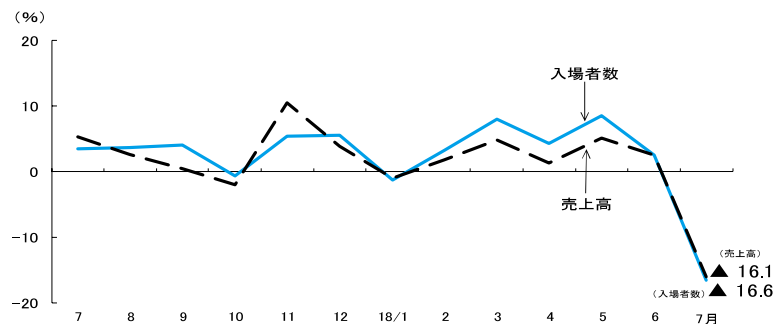
出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高(前年同月比)

##### 入場者数、売上高ともに

##### 6カ月ぶりに減少

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比16.6%減と6カ月ぶりに前年を下回った。県内客は6カ月ぶりに前年を下回り、県外客は3カ月連続で前年を下回った。
- ・売上高は同16.1%減と6カ月ぶりに前年を下回った。



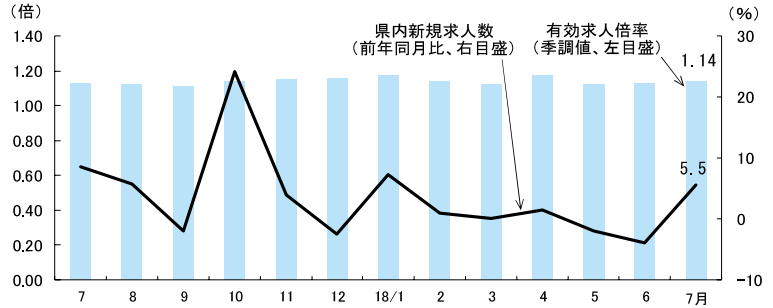
出所:りゅうぎん総合研究所 (注)調査先は8施設(うち県外客については6施設)からなる。

# 雇用関連・その他

## ① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

### 新規求人数は増加、有効求人倍率(季調値)は上昇

- ・新規求人数は、前年同月比5.5%増となり3カ月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業、サービス業などで増加し、建設業、製造業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.14倍と、前月より0.01ポイント上昇した。
- ・労働力人口は、71万8,000人で同0.6%減となり、就業者数は、69万8,000人で同0.6%増となった。完全失業者数は2万人で同28.6%減となり、完全失業率(季調値)は2.6%と前月より0.6%ポイント改善した。



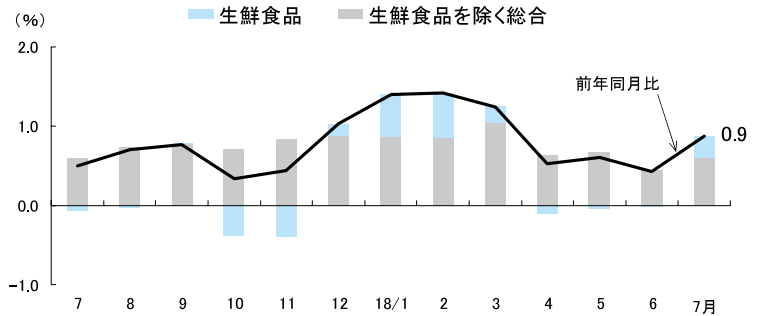
出所：沖縄労働局  
 (注)有効求人倍率は、2017年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

## ② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 22カ月連続で上昇

- ・消費者物価指数は、前年同月比0.9%増と22カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同0.6%増と前年を上回った。
- ・品目別の動きをみると、食料や光熱・水道などは上昇し、家具・家事用品などは下落した。

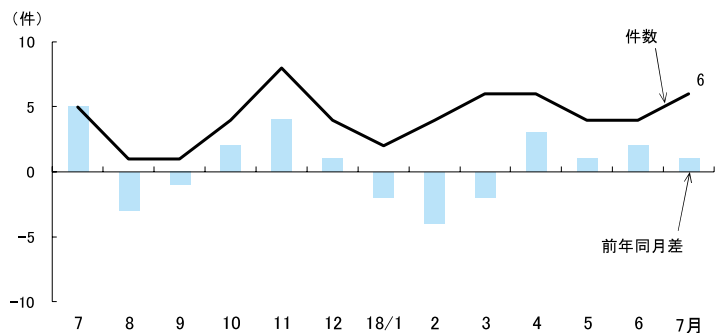


出所：沖縄県(注1)端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。  
 (注2)2016年7月より2015年=100に改定された。

## ③ 企業倒産

### 件数、負債総額ともに増加

- ・倒産件数は、6件で前年同月を1件上回った。業種別では、製造業2件(同2件増)、卸売業1件(同1件増)、建設業1件(同数)、サービス業1件(同数)、小売業1件(同1件減)だった。
- ・負債総額は、56億9,700万円となり、前年同月比1,605.7%の増加だった。



出所：東京商工リサーチ沖縄支店  
 (注)負債総額1,000万円以上

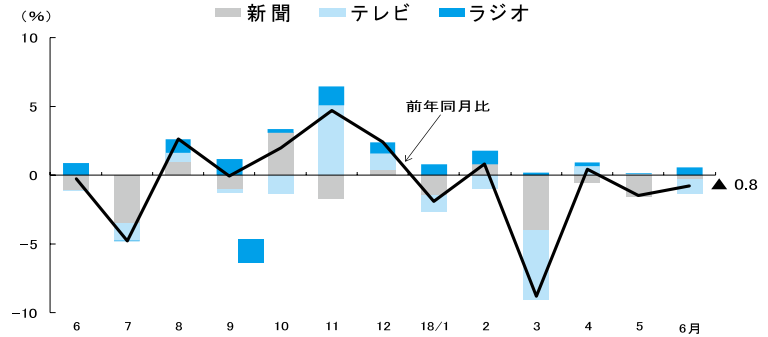


#### ④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

##### 2カ月連続で減少

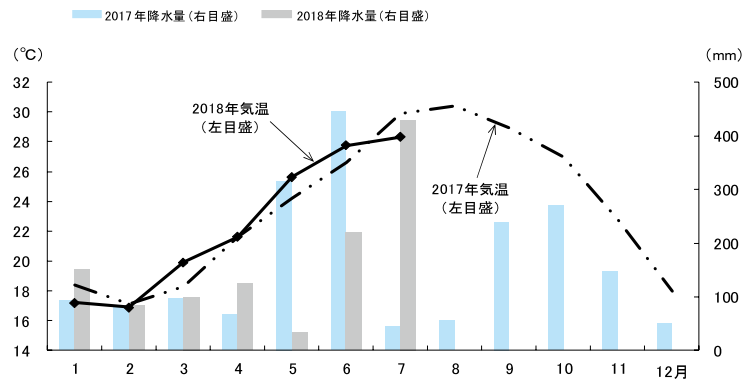
・広告収入(マスコミ:6月)は、前年同月比0.8%減となり、2カ月連続で前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

#### 参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は28.3℃となり、平年(28.9℃)、前年同月(29.9℃)より低かった。降水量は429.0mmで前年同月(44.0mm)よりかなり多かった。
- ・太平洋高気圧の縁に沿って台風第7号、8号、10号や熱帯低気圧、湿った空気が流れ込みやすく、沖縄地方の降水量は過去最高となり、特に、上旬の降水量は記録的となった。中旬以降は晴れの日が多かった。平均気温は平年より低く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年より少なかった。



出所:沖縄気象台

消費関連

建設関連

観光関連

その他



### 猫ブーム

#### さくらねこ事業に期待

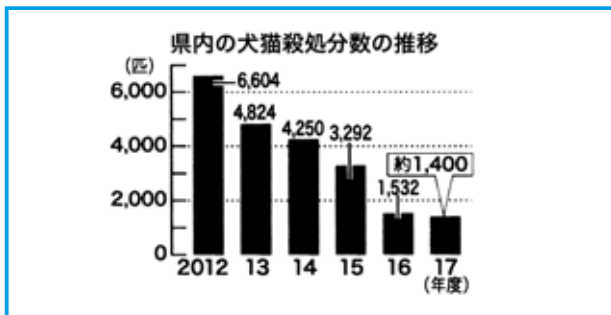
琉球銀行 赤道支店長  
野原 照彦

世は猫ブーム。アベノミクスならぬネコノミクスの経済効果は2兆円を超えとも言われていますが、ごみあさりやふん尿など猫による問題も増えています。うるま市では昨年、兵庫県に本部がある公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料避妊手術事業」制度を活用し、TNR方式によって173頭のさくらねこを誕生させました。

TNR方式とは、野良猫を捕獲(Trap)し、不妊手術(Neuter)を施した後、もとの場所に戻す(Return)ことにより猫の繁殖を抑え、自然淘汰でその数を減らしていく試みです。手術した猫はV字型に耳をカットされ手術済みの目印とされますが、その耳の形が桜の花びらに似ていることから「さくらねこ」とも呼ばれるようになりました。

昨年、県内では犬猫の殺処分数が過去最少となりましたが、まだまだ多くの犬猫が殺処分という悲しい死を迎えています。わが家にも縁あって保護した3匹の愛猫が住んでいます。家族の一員として癒しと安らぎを与えてくれる彼らを見るにつけ、私たちにできることがまだまだあるのではと感じています。

動物たちの命に心を寄せる社会は、間違いなく高齢者や子どもたち、そして立場の弱い人々にも心を寄せる暖かい社会だと思います。さくらねこ事業のいっそうの展開に期待するとともに、この猫ブームが経済効果にとどまらず、命を尊ぶ優しい社会を広げる契機になることを願っています。



### 仕組み金融

#### 大規模事業実施を支援

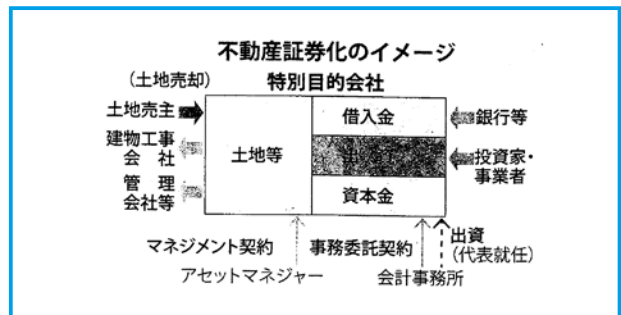
琉球銀行法人事業部ソリューショングループ 調査役  
草間 寛幸

現在、県内では大型のリゾートホテル建設が相次いでいますが、これら数百億円規模のプロジェクトを実施する場合、ストラクチャードファイナンス(仕組み金融)と呼ばれる手法が活用されています。

図は、ストラクチャードファイナンスの一種である不動産証券化によるファイナンスの例です。事業者は、特別目的会社を設立してプロジェクトを遂行します。同社の資本金は、事業者から独立した会計士からの出資だけで構成され、事業者との独立性が確保されます。運営はすべて会計士やアセットマネジャーなどが行います。事業者は、出資などで参加することによって収益を確保します。

事業者にとって、自身でプロジェクトを手掛けるよりもコスト負担は大きくなりますが、特別目的会社を設立してプロジェクトを遂行するため、プロジェクトの成否が事業者の既存事業に影響を与えることはありません。このため、事業者は積極的に新しいプロジェクトに取り組みます。また銀行および投資家は、事業者の既存事業がプロジェクトに影響しないため、プロジェクトさえ良いものであれば融資および出資を前向きに行います。

事業者が小規模であっても、内容次第で数百億円規模のプロジェクトを動かせるのがストラクチャードファイナンスの特徴です。通常のファイナンスでは難しい事業アイデアであっても、銀行はこうした仕組みを活用することで、事業者のアイデアの実現をサポートしています。





## 今帰仁村の活性化

### 架橋 祭りで魅力伝える

琉球銀行 今帰仁支店長  
 与那嶺 吉文

今帰仁村は約9千500人の人口を維持しながら、自然や歴史・文化を生かした地域活性化に村民一体となって取り組んでいます。今帰仁城跡で今年1月27日から2月12日に開催された「今帰仁グスク桜まつり」は、桜のライトアップや北山王・王妃との記念撮影会、伝統芸能披露が好評で、入場者数が5万人を超える過去最高の入り込みとなりました。

村内には県内屈指の観光地である古宇利島があります。2005年に古宇利大橋が開通し、10年には今帰仁村天底と屋我地島を結ぶワルミ大橋が開通しました。こうした整備によって、17年度は約82万人の観光客が古宇利島を訪れました。今後は滞在型の観光客の誘致を進めながら、観光収入を増やす取り組みが重要だと考えられています。那覇から北部への高速船の運航構想にも期待が集まります。

村内では、統合によって廃校になった小・中学校跡地に民間事業者が宿泊施設や介護施設、保育園などをつくり、有効利用している取り組みも注目されています。これらは地元の雇用の創出にもつながっています。

17年度の今帰仁村のふるさと納税は、1万1千件で約2億円と過去最高でした。寄付者へのお礼品として地元の特産品や観光商品を贈呈し、広く全国にPRする良い機会となっています。

現在、同村は新庁舎の建設に向けて検討を進めています。地域のシンボルとして魅力を発信し、同村がこれまで以上に注目されることが期待されます。

今帰仁村の人口推移 (人)

年	2013	14	15	16	17
男	4,826	4,873	4,879	4,892	4,841
女	4,764	4,755	4,732	4,712	4,654
総人口	9,590	9,628	9,611	9,604	9,495

※各年12月末現在

出所:今帰仁村行政区別住民登録集計



## 那覇空港の発展

### 旅客数増 施設拡充進む

琉球銀行 那覇空港内出張所長  
 澤岬 安一郎

那覇空港は国内外を結ぶハブ空港の機能をもつとともに、沖縄本島と離島を結ぶ拠点空港としても重要な役割を果たしています。

国内線旅客数は2009年以降、リーマンショックや東日本大震災などの影響により一時的に減少しましたが、12年のLCC(格安航空会社)の就航などで旅客需要が回復、17年度の国内線旅客数は過去最高の1,752万人を記録。国内線旅客数の順位で4位となっています。

国際線旅客数は09年度までは約30万人台で推移していましたが、10年度以降、ビザ発給の緩和や県を中心とした誘致活動を機に増加基調を強め、17年度は過去最高の360万人に達し、国際線旅客数の順位は6位となりました。

那覇空港では現在、増加するインバウンドへの対応として国内線と国際線をつなぐ連結ターミナル施設の工事を進めており、19年3月の運用開始が決まっています。

これまではいったん外に出て、連絡通路を使い国内線と国際線を行き来していましたが、連結ターミナル施設が完成すると、外に出る必要がなくスムーズな移動が可能になります。

連結ターミナル施設では、国際線やLCCのチェックインカウンターが集約・拡張され、国内線のチェックインカウンターと連続するため、わかりやすく便利になります。また約30の物販・飲食店舗が入居予定で、充実したテナントフロアになる見込みです。

20年の第2滑走路の完成とあわせて那覇空港の発展が楽しみです。

国内空港の国内線 旅客数順位(2017年度) 国内空港の国際線 旅客数順位(2017年度)

国内線	空港名	旅客数(万人)	国際線	空港名	旅客数(万人)
1	東京国際(羽田)	6,818	1	成田	3,150
2	新千歳	1,959	2	関西国際	2,177
3	福岡	1,764	3	東京国際(羽田)	1,712
4	那覇	1,752	4	福岡	633
			5	中部国際	554
			6	那覇	364

出所:国土交通省航空局のデータにもとづく

りゅうぎん 事業承継サポートローン

M&Aにも  
対応可能

# 未来リレー

事業承継計画を策定し  
会社の更なる成長へ！



円滑な事業承継で悩み解決！

事業承継計画策定から徹底サポート！

ご融資

最大 3億円

最長 30年

原則 無担保・代表者以外の保証人不要！

お問い合わせ・ご相談等はお気軽にりゅうぎん 窓口または専用ダイヤルへ

事業承継サポートローン専用ダイヤル

※ 祝日・土日以外の平日9:00～17:00まで対応いたします。

0120-63-1189



経営部門の基本有用情報  
太陽 Grant Thornton  
今月の経営情報 2018年8月

## 今回のテーマ

# 働き方改革関連法について

## 1. 概要

2018年6月29日働き方改革関連法が参院本会議で可決されました。残業時間規制・不合理な待遇差の解消・高度プロフェッショナル制度の導入を三本柱として2019年4月1日から施行されます。

内容	取扱い	※
労働時間に関する制度の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外労働の上限を原則年360時間、月45時間（休日労働含む）、2～6ヶ月の平均80時間（同）に設定（刑事罰あり）</li> <li>月60時間を超える時間外労働に係る割増賃金率（50%以上）に係る中小企業への猶予措置の廃止</li> <li>事業主は、10日以上年の年次有給休暇が付与される労働者に対し、内5日につき毎年時季を指定して付与することが義務化</li> </ul>	大：'19年4月 中小：'20年4月  中小：'23年4月 全：'19年4月
高度プロフェッショナル制度の創設	一定年収（最低限1,000万円以上）で専門知識を有する労働者は、年間104日の休日取得の履行等・本人の同意等を要件として労働時間・休日・深夜割増賃金の規定対象外（刑事罰あり）	全：'19年4月
勤務時間インターバル制度の普及促進等	事業主は、前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間の休息時間を確保することを促進（努力義務規定）	全：'19年4月
産業医・産業保健機能の強化	事業者から、従業員の健康管理上必要な情報を産業医に提供することを義務化	全：'19年4月
不合理な待遇差の解消	正社員と非正規労働者間の待遇等は均等・均一化することを義務化	大：'20年4月 中小：'21年4月

※ 大企業は中小企業以外の企業、中小企業は次のとおりです。

業種	資本金の額又は出資の総額	又は	常時使用する労働者の数
小売業	5,000万円以下		50
サービス業			100
卸売業	1億円以下		300
その他の事業	3億円以下		

## 2. 長時間労働の上限制度の導入について

残業規制は原則として年360時間、1カ月では休日出勤も含めて45時間の上限が設定されます。月45時間を超える残業時間は年に6カ月、平均80時間を限度とされました。従来は事実上青天井だった残業時間に、1947年の労基法制定以来初めて上限を定めたことが大きな特徴といえます。従って、来年4月以降は、残業が月45時間を超えて良いのは年6回までとなります。

## 3. 高度プロフェッショナル制度の創設について

高度プロフェッショナル制度対象者については、健康確保措置として、年間104日の休日確保措置の義務化に加え、①インターバル措置、②1カ月又は3カ月の在社時間等の上限措置、③2週間連続の休日確保措置、④臨時の健康診断のいずれかの措置の実施が義務化されます。

### お見逃しなく！

中小企業の長時間労働削減の取り組みの後押しとして、厚生労働省の「時間外労働等改善助成金」制度があり、その中で「時間外労働上限設定コース」の拡充が予定されています。

# りゅうぎん Visa デビットカードなら



## 今日の 申込みで すく 使える!



**単体型** デビットカードのみ



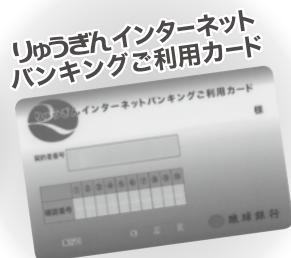
**一体型** デビットカード+キャッシュカード



### 対象の りゅうぎんVisaデビットカード

当日発行対象のカードはデザインが  
決められております。予めご了承ください。

**これも  
今日から**



●【即時発行の条件】個人のお客様で、窓口にてご本人確認が可能な顔写真付き書類（運転免許証、個人番号カードなど）のご提出が必要となります。※ Visaデビットカードにつきましては、新規発行のみ。再発行・切替は、今秋以降を予定しています。●りゅうぎんVisaデビットカード【ご利用対象者】契約時の年齢が満15歳以上（中学生を除く）の個人のお客様で、当行に普通預金の口座をお持ちであること。【年会費】500円（税別）※初年度無料

## 沖 縄

**8.1** ㈱マッシングラ(東京都新宿区)は、㈱沖縄タイムス社との共同出資で「㈱マッシングラ沖縄タイムス」を設立した。18年12月には、那覇市久茂地のタイムスビル2階に「Howlive沖縄タイムスコワーキングプレイス」(8ルーム・20席)を開業予定。

**8.14** ㈱東京商工リサーチ沖縄支店によると、県内の全用途の17年度建築単価(1㎡あたり)は、前年度比4.2%上昇の22万3,400円と、7年連続で上昇した。居住専用住宅は同2.6%上昇の19万5,200円で5年連続、産業用建築物は同2.9%上昇の25万4,700円で6年連続の上昇となった。

**8.15** 那覇港管理組合は、那覇クルーズターミナル(泊ふ頭地区8号岸壁)で受け入れるクルーズ船の対象を拡大した。これまでの最大船型は、総トン数13万GT級・全長311m(ボイジャー・オブ・ザ・シーズ)だったが、新たに16万GT級・全長335m程度の船型(ノルウェー・ジャン・ジョイなど)も受入可能となった。

**8.16** 沖縄国税事務所の17年度の租税滞納状況によると、県内で新たに発生した滞納額は、前年度比5.6%増の65億20百万円だった。17年度末の滞納整理中のものの額(滞納残高)は、同0.2%増の68億48百万円となり、22年ぶりに増加に転じた。

**8.21** 「ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄」が開業した。客室数は全344室。恩納村瀬良垣島の「ザ・アイランド」(7階建て・320室)と沖縄本島側の「ザ・ビーチハウス」(3階建て・24室)からなる。

**8.24** 県文化観光スポーツ部は、宿泊施設実態調査の結果(民泊施設、モーター、ラブホテル等除く)を発表した。17年12月31日時点の県内宿泊施設は、軒数が前年比14.2%増の2,082軒、客室数が同7.9%増の46,068室、収容人数が同8.4%増の121,403人となり、いずれも16年連続で過去最高となった。

## 全国・海外

**8.1** ㈱日本政策投資銀行の18年度設備投資計画調査によると、大企業(資本金10億円以上)の18年度国内設備投資額は、生産能力増強や都市機能拡充に向けた投資が牽引し、全産業で前年度実績比21.6%の大幅増、7年連続の増加となる。

**8.8** 農林水産省によると、17年度のカロリーベース食料自給率は、食料消費全体に占める米の割合の減少や、畜産物の輸入品がより増加したことなどから38%(前年度同水準)となった。生産額ベース食料自給率は、円安の影響もあり畜産物や魚介類の輸入額が増加したことなどから65%(同2%ポイント低下)となった。

**8.10** 金融庁は、㈱ローソンの子会社である㈱ローソン銀行(東京都品川区)に対し、銀行業の免許を付与したことを発表した。銀行開業予定日は18年9月10日で、ATM事業やリテール事業(預金、為替、インターネットバンキングなど)を行う。

**8.10** 農林水産省によると、国内の18年上半期(1-6月)の農林水産物・食品の輸出額は、前年同期比15.2%増の4,359億円となった。輸出先を輸出額の多い順にみると、1位が香港、次いで中国、米国の順となった。また、17年暦年の輸出実績は8,071億円と5年連続で増加した。

**8.20** 「欧州安定メカニズム」(ESM)は、ギリシャが欧州連合(EU)による金融支援プログラムを完了したことを発表した。ESMは、ギリシャに対し最大860億ユーロの枠を設け、3年間で619億ユーロを融資したが、利用可能な残りの241億ユーロは必要なくなった。

**8.29** アマゾンジャパンは、実店舗でのAmazon Payスマートフォン決済を開始した。スマートフォンにダウンロードしたAmazonショッピングアプリに表示されるQRコードを使うことで、飲食店や美容院、衣料品などの実店舗での支払いが可能となる。

# 沖縄県内の主要経済指標

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動車 販売台数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2015	14.5	3.1	5.6	▲ 6.9	▲ 4.3	2.3	321,300	9.0	2,037	▲ 2.9
2016	2.7	3.4	4.4	0.7	2.5	4.2	333,988	3.9	2,103	3.2
2017	2.7	1.5	2.1	▲ 1.5	2.1	2.8	351,069	5.1	2,249	7.0
2017 6	4.5	0.1	▲ 0.1	▲ 0.5	14.1	3.0	33,703	43.9	221	18.0
7	▲ 4.9	1.5	1.8	4.2	▲ 8.9	4.1	45,031	31.8	448	175.3
8	11.5	▲ 3.8	▲ 2.1	11.5	12.5	10.0	41,576	66.3	193	61.1
9	4.2	11.5	13.1	▲ 1.8	6.3	▲ 1.0	23,363	▲ 38.3	153	▲ 28.0
10	2.7	1.2	2.7	3.7	1.4	6.4	28,073	▲ 23.5	153	▲ 26.6
11	13.2	1.5	3.1	▲ 3.8	2.2	▲ 1.6	23,134	▲ 3.7	185	23.0
12	▲ 1.2	2.0	4.0	▲ 13.7	▲ 8.8	2.8	19,275	▲ 19.4	164	▲ 39.0
2018 1	▲ 0.8	0.6	2.5	▲ 9.1	10.8	▲ 2.2	54,569	87.2	168	▲ 26.6
2	▲ 1.9	1.7	3.5	▲ 7.5	▲ 8.6	▲ 0.9	24,674	▲ 10.3	164	47.9
3	▲ 0.6	0.9	3.5	5.5	▲ 2.8	▲ 0.2	54,532	19.7	138	3.5
4	3.0	▲ 1.0	1.7	▲ 13.9	36.9	▲ 0.8	22,513	26.3	128	▲ 17.2
5	2.6	▲ 1.6	1.5	11.5	20.8	3.8	16,134	▲ 4.5	151	46.8
6	8.0	0.1	3.6	▲ 4.7	▲ 0.1	▲ 3.0	25,324	▲ 24.9	189	▲ 14.5
7	0.9	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 17.0	2.8	▲ 4.0	26,729	▲ 40.6	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2015	16,136	4.6	22.7	3.4	▲ 1.2	▲ 11.0	▲ 5.0	6.2	4.1	▲ 1.2
2016	16,201	0.4	7.5	▲ 7.6	▲ 14.2	▲ 12.6	▲ 6.6	2.6	▲ 2.9	0.3
2017	16,591	2.4	▲ 8.0	11.3	9.5	26.4	0.3	3.6	3.0	0.1
2017 6	1,343	▲ 12.5	▲ 11.3	5.2	6.6	38.2	▲ 4.7	4.5	1.1	▲ 0.2
7	1,915	33.7	92.1	15.7	13.8	23.6	5.7	4.5	3.5	▲ 4.8
8	1,425	31.7	39.1	30.5	23.5	25.3	16.8	4.8	3.7	2.6
9	1,213	▲ 29.2	▲ 56.0	8.0	2.0	39.1	7.1	▲ 2.9	4.1	▲ 0.1
10	1,392	▲ 19.6	61.3	13.1	▲ 1.1	23.7	▲ 3.1	▲ 3.2	▲ 0.6	2.0
11	1,620	53.3	▲ 61.8	13.6	7.0	21.5	1.7	10.9	5.4	4.7
12	1,392	▲ 19.4	▲ 33.3	14.6	14.8	19.0	12.7	1.5	5.6	2.4
2018 1	1,247	2.6	5.1	11.2	2.6	10.6	8.5	▲ 2.6	▲ 1.3	▲ 1.9
2	1,609	43.0	58.5	13.4	2.3	3.3	18.4	4.6	3.3	0.8
3	1,253	▲ 8.9	▲ 0.2	13.7	▲ 1.2	17.4	24.2	1.7	8.0	▲ 8.8
4	1,171	▲ 23.4	▲ 68.7	14.1	7.9	20.4	13.6	▲ 2.7	4.3	0.4
5	1,148	9.5	41.6	9.0	6.2	▲ 0.3	20.2	▲ 9.2	8.5	▲ 1.5
6	1,730	28.8	56.3	0.3	0.9	▲ 3.8	18.2	▲ 5.5	2.5	▲ 0.8
7	-	-	▲ 40.8	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 6.8	10.4	▲ 10.3	▲ 16.6	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。



暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2010年=100	前年比
2015	7,763.0	10.0	1,501.2	68.0	81.8	78.9	4.5	7.2	100.7	▲ 3.7
2016	8,613.1	11.0	2,082.1	38.7	82.2	80.3	3.6	3.8	95.5	▲ 5.2
2017	9,396.2	9.1	2,542.2	22.1	81.3	80.1	▲ 0.9	0.9	99.9	4.6
2017 6	798.8	11.8	261.5	21.1	81.0	76.6	2.6	2.5	97.8	2.6
7	907.9	12.7	292.7	34.7	83.6	86.7	▲ 3.4	1.8	94.8	▲ 1.9
8	1,002.5	8.2	275.7	18.8	88.6	89.7	0.4	▲ 0.5	108.3	15.3
9	837.1	5.6	233.5	14.8	87.9	88.4	▲ 1.2	▲ 6.9	96.1	5.4
10	799.3	4.1	229.2	17.7	77.6	84.9	▲ 8.8	▲ 2.2	103.6	2.5
11	762.9	17.3	182.4	65.5	81.2	78.7	1.6	5.6	92.8	▲ 4.1
12	718.5	8.4	183.1	33.5	69.4	64.3	▲ 5.4	▲ 3.0	93.9	▲ 2.1
2018 1	704.3	7.9	194.4	32.1	73.2	68.2	▲ 4.1	▲ 1.1	91.1	▲ 5.7
2	711.4	11.5	194.8	35.2	89.1	81.7	6.3	0.9	91.1	0.7
3	837.4	7.6	210.3	32.8	83.3	82.6	▲ 0.1	▲ 0.4	107.2	▲ 7.5
4	833.2	9.7	276.8	27.2	78.8	81.9	▲ 3.9	0.9	98.8	▲ 9.0
5	830.9	12.2	316.3	45.9	71.3	72.8	▲ 6.1	▲ 8.5	97.8	10.0
6	809.7	1.4	275.1	5.2	78.1	79.5	0.9	0.5	102.0	2.7
7	884.1	▲ 2.6	290.8	▲ 0.6	80.6	84.1	▲ 0.8	▲ 4.9	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2015	68	10,387	2.7	0.6	5.2	2.9	0.84	12.1	42,785	267,346
2016	42	5,158	▲ 50.3	0.1	4.4	2.3	0.97	10.3	27,928	177,391
2017	51	6,223	20.6	0.5	3.7	1.8	1.11	6.6	32,347	194,584
2017 6	2	70	▲ 36.4	0.6	4.2	1.9	1.15	2.6	1,855	15,124
7	5	334	100.0	0.5	3.6	4.0	1.13	8.6	1,520	11,545
8	1	157	9.8	0.7	3.4	1.6	1.12	5.8	2,265	12,714
9	1	16	▲ 93.3	0.8	3.5	▲ 0.4	1.11	▲ 2.0	7,495	14,231
10	4	307	13.7	0.3	3.9	▲ 0.4	1.14	24.2	3,397	25,490
11	8	852	10.6	0.4	4.1	2.8	1.15	3.9	2,196	10,955
12	4	1,299	549.5	1.0	3.5	1.0	1.16	▲ 2.5	1,966	26,519
2018 1	2	620	339.7	1.4	3.5	0.4	1.17	7.3	1,303	24,007
2	4	366	▲ 51.8	1.4	4.2	1.4	1.14	1.0	1,207	9,707
3	6	576	▲ 67.4	1.2	3.2	4.8	1.12	0.0	1,367	12,222
4	6	1,467	1,028.5	0.5	2.9	4.6	1.17	1.5	1,890	7,658
5	4	347	▲ 11.3	0.6	4.1	1.7	1.12	▲ 2.0	1,461	15,708
6	4	1,317	1,781.4	0.4	3.2	0.4	1.13	▲ 3.9	1,687	9,788
7	6	5,697	1,605.7	0.9	2.6	0.6	1.14	5.5	1,103	15,803
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2017年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

# 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券発行額	銀行券還収額	銀行券増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2015FY	3,247	4,470	▲ 1,225	1.822	245	▲ 3.1	4,129	▲ 0.8	331	0.080
2016FY	2,830	4,284	▲ 1,452	1.628	229	▲ 6.6	3,767	▲ 8.8	138	0.037
2017FY	2,561	4,288	▲ 1,728	1.559	211	▲ 7.9	3,677	▲ 2.4	82	0.022
2017 6	208	362	▲ 154	1.579	20	▲ 7.2	331	▲ 4.2	1	0.002
7	191	296	▲ 104	1.574	18	4.1	320	18.4	0	0.000
8	183	375	▲ 192	1.571	18	▲ 17.5	356	▲ 10.2	0	0.001
9	185	383	▲ 198	1.569	16	▲ 16.6	255	▲ 16.7	0	0.000
10	217	372	▲ 154	1.569	19	5.4	330	15.6	0	0.000
11	192	372	▲ 180	1.567	17	▲ 9.1	296	9.3	0	0.000
12	454	134	320	1.559	16	▲ 10.8	263	▲ 8.8	6	0.023
2018 1	120	577	▲ 457	1.556	18	▲ 1.4	309	3.5	0	0.001
2	171	288	▲ 117	1.552	16	▲ 10.8	286	1.2	0	0.000
3	188	367	▲ 179	1.531	16	▲ 17.1	275	▲ 18.8	0	0.000
4	267	248	19	1.538	16	1.8	332	16.2	7	0.022
5	168	484	▲ 316	1.526	20	▲ 3.7	370	▲ 0.0	0	0.000
6	208	275	▲ 67	1.520	16	▲ 18.1	262	▲ 21.0	0	0.001
7	-	-	-	-	19	5.2	374	17.1	3	0.008
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2015FY	45,359	1.8	33,039	5.4	44,713	4.3	8,057	▲ 1.2	1,278	▲ 8.1
2016FY	45,634	0.6	34,673	4.9	46,088	3.1	8,199	1.8	1,201	▲ 6.8
2017FY	47,488	4.1	36,762	6.0	47,689	3.5	8,491	3.6	1,173	▲ 2.3
2017 6	46,456	0.6	34,441	5.2	48,269	3.2	8,120	3.2	1,135	▲ 6.3
7	46,626	1.6	34,622	5.4	48,235	2.9	8,086	3.1	1,139	▲ 6.3
8	46,476	2.0	34,803	5.4	48,028	3.1	8,082	1.9	1,142	▲ 6.3
9	46,707	3.4	35,151	5.3	48,375	3.6	8,092	1.8	1,148	▲ 6.4
10	46,559	3.5	35,020	5.2	48,222	4.7	7,998	▲ 0.8	1,149	▲ 5.4
11	46,894	3.0	35,214	5.0	48,614	4.5	8,020	0.0	1,150	▲ 4.5
12	46,727	3.2	35,580	5.3	48,445	4.0	8,227	2.7	1,149	▲ 4.8
2018 1	46,557	3.3	35,755	5.2	48,254	3.9	8,270	1.1	1,156	▲ 3.5
2	46,789	3.2	35,985	5.1	48,061	4.1	8,320	1.7	1,164	▲ 2.3
3	47,488	4.1	36,762	6.0	48,118	3.4	8,491	3.6	1,173	▲ 2.3
4	48,229	3.7	36,184	6.2	49,244	3.8	8,454	3.3	1,146	▲ 1.9
5	47,987	3.5	36,443	6.1	49,456	4.1	8,429	3.3	1,138	▲ 0.5
6	48,183	3.7	36,582	6.2	50,104	3.8	8,411	3.6	1,141	0.6
7	48,122	3.2	36,785	6.2	-	-	8,385	3.7	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から小切手・手形を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。

# りゅうぎん ポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ!

## とくとく特典

特典1

ATM時間外  
手数料が **無料!**  
(当行ATM利用時のみ)

特典2

当行本支店間の  
振込手数料が **無料!**  
(キャッシュカード使用時のみ)

特典3

スーパー定期の  
金利を**上乗せ!**  
(※店頭表示金利+0.05%)

### ポイントサービスとは!

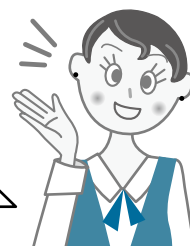
日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

イクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。

フリーコール **0120-19-8689**

琉球銀行 ポイントサービス

検索

<http://www.ryugin.co.jp/>

## 特集レポートバックナンバー

### ■平成28年

- 10月 (No.564) 経営トップに聞く 株式会社丸大  
An Entrepreneur みかん・おれんじグループ
- 11月 (No.565) 経営トップに聞く デルタ電気工業株式会社  
An Entrepreneur 株式会社ABCメディカルサポート  
特集 宮古ロックフェスティバル2016の経済効果
- 12月 (No.566) 経営トップに聞く フォーモストブルーシール株式会社  
An Entrepreneur 真幸組株式会社

### ■平成29年

- 1月 (No.567) 経営トップに聞く 株式会社かりゆし  
An Entrepreneur 有限会社コムテック創研  
特集1 県内企業の人手不足の対応と課題  
特集2 沖縄県経済2016年の回顧と2017年の展望
- 2月 (No.568) 経営トップに聞く 株式会社アレックス  
An Entrepreneur 有限会社浦西開発
- 3月 (No.569) 経営トップに聞く 株式会社富士葬祭  
An Entrepreneur yui FACTORY  
特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向(2016年)
- 4月 (No.570) 経営トップに聞く 有限会社沖縄長生薬草本社  
An Entrepreneur 株式会社琉球ファクトリー
- 5月 (No.571) 経営トップに聞く 株式会社ナンポー  
An Entrepreneur 農業生産法人安座間珈琲農園合同会社  
特集1 沖縄県の主要経済指標  
特集2 2016年度の沖縄県経済の動向
- 6月 (No.572) 経営トップに聞く 株式会社次郎工業  
An Entrepreneur 株式会社EGL OKINAWA
- 7月 (No.573) 経営トップに聞く 生活協同組合コープおきなわ  
An Entrepreneur イーストホームタウン沖縄株式会社  
特集 沖縄県内における2017年プロ野球春季キャンプの経済効果
- 8月 (No.574) 経営トップに聞く 医療法人六人会  
An Entrepreneur レキオファーマ株式会社  
特集 第32回NAHAマラソンの経済波及効果

- 9月 (No.575) 経営トップに聞く 株式会社学友館  
An Entrepreneur プーランジェリーパティスリー いまいバン
- 10月 (No.576) 経営トップに聞く 興南施設管理株式会社  
An Entrepreneur 株式会社フルシステム
- 11月 (No.577) 経営トップに聞く 株式会社大和工業  
An Entrepreneur 合同会社暮らしかたらぼ
- 12月 (No.578) 経営トップに聞く オム・ファム株式会社  
An Entrepreneur 株式会社クロックワーク

### ■平成30年

- 1月 (No.579) 経営トップに聞く サイアスホーム株式会社  
An Entrepreneur 株式会社琉球テクノロジー  
特集 沖縄県経済2017年の回顧と2018年の展望
- 2月 (No.580) 経営トップに聞く 北谷長老酒造工場株式会社
- 3月 (No.581) 経営トップに聞く 株式会社沖縄浄管センター  
An Entrepreneur BENTY合同会社  
特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向(2017年)
- 4月 (No.582) 経営トップに聞く 株式会社ナノシステムソリューションズ  
An Entrepreneur 株式会社アクティブホビープロダクツ
- 5月 (No.583) 特集 2017年度の沖縄県経済の動向
- 6月 (No.584) 経営トップに聞く 株式会社沖縄ヤマハ  
特別寄稿 沖縄県におけるインバウンド消費を取り巻く動向について  
特集 沖縄県の主要経済指標
- 7月 (No.585) 経営トップに聞く 株式会社琉球住樂  
An Entrepreneur 株式会社イメイト
- 8月 (No.586) 経営トップに聞く 株式会社沖縄ソフトウェアセンター  
特集1 リーマンショック後の県内ホテル稼働状況  
特集2 沖縄県内における2018年プロ野球春季キャンプの経済効果

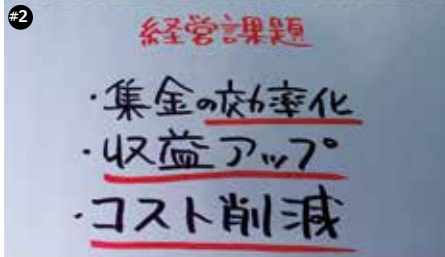
# 「飛び出せリウコムくん」篇 TVCM15"



とある大きな会議室  
10名ほどの役員メンバーが  
集まり頭を悩ませる



#1 40代から60代役員たち：う～ん・・・困ったなあ・・・



#2 この経営課題どうすべき・・・？



バサバサバサ!!



#4 すべるリウコムくん  
役員の前で  
ピタッととまる



#5 リウコムくん登場

**リウコム!**

あえてアナログな仕掛けの手作り感たっぷりの  
フリップでリウコムのITを説明するリウコムくん



#6 そこはリウコムのITでラクラク解決～♪

ITではたらくをらくにする。



**リウコム!**



沖縄のIT総合サービス企業



<http://www.ryucom.co.jp>

代表取締役社長 宜保 諭

■本社  
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル11階  
TEL.098-867-2584(代) FAX.098-867-2583

■浦添データセンター  
〒901-2121 沖縄県浦添市内間4丁目1番1号 琉球銀行浦添ビル6階  
TEL.098-876-3121(代) FAX.098-876-7065

りゅうぎん調査 No.587 平成30年 9月5日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所  
〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9  
りゅうぎん健保会館3階  
TEL 835-4650 FAX 833-3732

印刷：沖縄高速印刷株式会社